

市民参加型共創プラットフォーム 西鎌倉地域での試験運用の中間報告会

令和5年(2023年)3月11日 10:00~12:00

鎌倉市 政策創造課 スマートシティ担当

目次

1. 市民参加型共創プラットフォームとは
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

目次

- 1. 市民参加型共創プラットフォームとは**
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

市民参加型共創プラットフォーム構築の背景

市民ニーズ・地域課題が
複雑・多様化

依存（対立）から

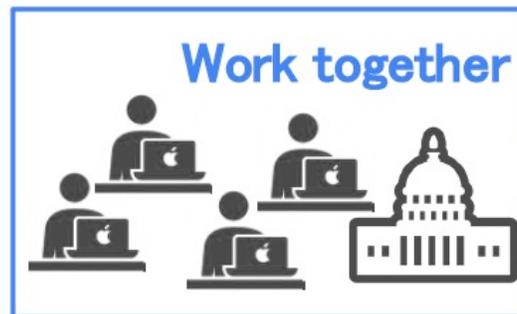
共創へ
～「共に考え、共に創る」～

市民

行政



行政と市民
(エンジニア、デザイナー、
民間企業、NPO、学生など)



社会課題



住民の力を、課題解決や政策づくりにどうすれば生かせるか？

オンライン×対面 市民参加型共創プラットフォームとは

<目的> 情報公開し、政策形成過程に市民が参画する新たな仕組みを構築する

既存の取組

市民対話・ワークショップなど

《メリット》

- ・議論に臨場感があり、活発に進む
- ・議論の密度が濃い

《デメリット》

- ・時間、場所、参加者層に制約や偏りがある
- ・主張の強弱が出やすい

新たな取組

オンラインプラットフォーム

《メリット》

- ・時間、場所、参加者層の制約がない
- ・議論がオープンである
- ・テキスト主張の強弱が出にくい

《デメリット》

- ・議論の密度は市民対話には劣る
- ・議論の展開にやや時間を要する

補完



拡充

市民参加型共創プラットフォーム（仮称）＝政策形成過程に幅広い市民の参画を可能とする仕組み

オンラインプラットフォームの強み・必要性

- ◆ 市内外（観光客など）、年齢層、職種、家族構成などにとらわれない幅広い意見を集められる
- ◆ 普段対面では意見が言いつらいような方も匿名により意見を発信できる

多様性

透明性

公平性

- ◆ 議論の経過を可視化することで、政策形成の過程の透明性を高めることができる

- ◆ テキストなので主張の強弱が出にくく、サイレントマジョリティの意見もフラットに集められる

目次

1. 市民参加型共創プラットフォームとは
- 2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景**
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

西鎌倉地域での試験運用を実施するに至った経緯

西鎌倉地区社会福祉協議会
(平成28年10月～)

「探検！発見！西鎌倉!!」により、
地域の課題や資源を明らかにし、住みやすいまち西鎌倉について検討

西鎌倉地区自家用車を止めても安心して暮らせるまちづくり実行委員会
(令和3年1月～)

「歩いて楽しいまち・西鎌倉」を提案
「西鎌倉のまちづくり」全体を視野に課題解決の提案や実証に取り組む

市が地域の取組に参加

準備会（令和4年9月29日／10月20日）

市役所と西鎌倉地域で「市民参加型共創プラットフォーム」の試験運用に向けた調整を開始

- ・西鎌倉駅を中心とした西鎌倉地域を対象に、市と市民が協力して課題の見える化と解決策を検討
- ・まずは、テーマについて、市民参加型共創プラットフォームにて意見を求めていくことに

試験運用開始！

市民参加型共創プラットフォームで意見を募集！（令和4年11月7日～）

まずは、「発見、ここいいね西鎌倉！」を切り口に意見を募集！
いつまでも住み続けたい西鎌倉にするため、「魅力」と「課題」について一緒に考えてみませんか？

西鎌倉地区社会福祉協議会での取組

わたしの住む街



西鎌倉地区社会福祉協議会 25周年記念誌

探検！発見！西鎌倉！！

西鎌倉地域で生活する住民の声～生活で気になるところ その1～

安全		植木 (緑地)
防犯 リンゴ畑の1つ隣の道電灯が少ない。 鎌倉山は、夜電灯が少ない。 鎌倉山、空き家がふえてます。怖いからかな？ 鎌倉山、空き家がふえてます。怖いからかな？ 地下道(木こい村)で水車と水たまりが多く臭い。 びんや缶が落ちて、目の通りが邪魔。 鎌倉山の住宅地帯、臭い場所が多い。	防炎 鎌倉山内に消防署が2ヶ所あるらしいが、どこなのかわからない！ コープの駐車場入り口は、ガスト側に入ったところから来た車が、草が生えすぎ。 公園内は西鎌倉公園を過ぎて来た方向へ進めたい。 公園の裏側が、ゴミ捨て場や、ゴミが落ちていて。 公園の裏側が、ゴミ捨て場や、ゴミが落ちていて。 公園の裏側が、ゴミ捨て場や、ゴミが落ちていて。	竹やぶが鬱蒼と伸びてくる。日当たりが悪くなる(子供や公園遊び)。 パーキング場の、木の影にすべりやすくなる。 公園の防犯。 公園の防犯。 公園の防犯。
その他		交通
ニューサル(新鎌倉)が、北側に多い。 鎌倉山、空き家がふえてます。怖いからかな？ 地下道(木こい村)で水車と水たまりが多く臭い。 びんや缶が落ちて、目の通りが邪魔。 鎌倉山の住宅地帯、臭い場所が多い。	町が年を取っている (空き家) 高層ビルが多い、空き家が多い。 高層ビルが多い、空き家が多い。 高層ビルが多い、空き家が多い。 高層ビルが多い、空き家が多い。	急な坂、道が狭いからこの坂が危い。 コムラマの坂、急な坂、道が狭いからこの坂が危い。 コムラマの坂、急な坂、道が狭いからこの坂が危い。 コムラマの坂、急な坂、道が狭いからこの坂が危い。

西鎌倉地域で生活する住民の声～生活で気になるところ その2～

子ども	高齢者
全体の公園、公園に遊具が少ない。 高齢者が多く、歩道に障子が多い。 高齢者が多く、歩道に障子が多い。 高齢者が多く、歩道に障子が多い。	公園、遊具やベンチが少なくて、特に夏場は草が多く、歩道に障子が多い。 公園、遊具やベンチが少なくて、特に夏場は草が多く、歩道に障子が多い。 公園、遊具やベンチが少なくて、特に夏場は草が多く、歩道に障子が多い。
交通	その他
交通 急な坂、道が狭いからこの坂が危い。 コムラマの坂、急な坂、道が狭いからこの坂が危い。 コムラマの坂、急な坂、道が狭いからこの坂が危い。 コムラマの坂、急な坂、道が狭いからこの坂が危い。	ニューサル(新鎌倉)が、北側に多い。 鎌倉山、空き家がふえてます。怖いからかな？ 地下道(木こい村)で水車と水たまりが多く臭い。 びんや缶が落ちて、目の通りが邪魔。 鎌倉山の住宅地帯、臭い場所が多い。

『歩いて楽しまち・西鎌倉』での取組

- ・地域住民相互の関係性を形成
- ・世代間交流や町内会交流
- ・住民主体での課題解決

1. 豊かなつながりのあるまち（コミュニティ）

住民同士が直接繋がり、豊かな生活を分かち合い、支え合う関係が広がる、それらの活動が見える化されている

魅力的な地域資源
の発掘と循環

『歩いて楽しいまち西鎌倉』

まちの主役を
クルマから人へ

2. 心地よく暮らせるまち（場）

自然豊かな里山、安らげる場所交流の拠点が身近にある

- ・地域住民が集い、地域の課題解決

わがまちの
好きな場所へ
自由に行ける

3. 移動が楽にできるまち（方法）

天候や体調などの条件にあった、多様な移動手段が選べる

- ・足腰が不自由になっても積極的に外出し社会と関わることができる

西鎌倉地域での試験運用の推進体制

鎌倉市

鎌倉市スマートシティ庁内検討委員会
オンライン共創プラットフォーム利活用部会

- 政策創造課 (全体統括)
- デジタル戦略課 (全庁デジタルインフラ整備)
- 広報課 (広報)
- 地域共生課 (広聴)
- 地域のつながり推進課 (地域連携)
- 高齢者いきいき課 (地域連携)
- 都市計画課 (交通) (地域連携)

事業者

株式会社 Liquitous 「Liqid」



地域フィールド

西鎌倉地域

- 西鎌倉地区町内・自治会連合会
- 西鎌倉地区社会福祉協議会
- 西鎌みんなの家

などをはじめとした西鎌倉地域に関わる方々

専門家

専門家

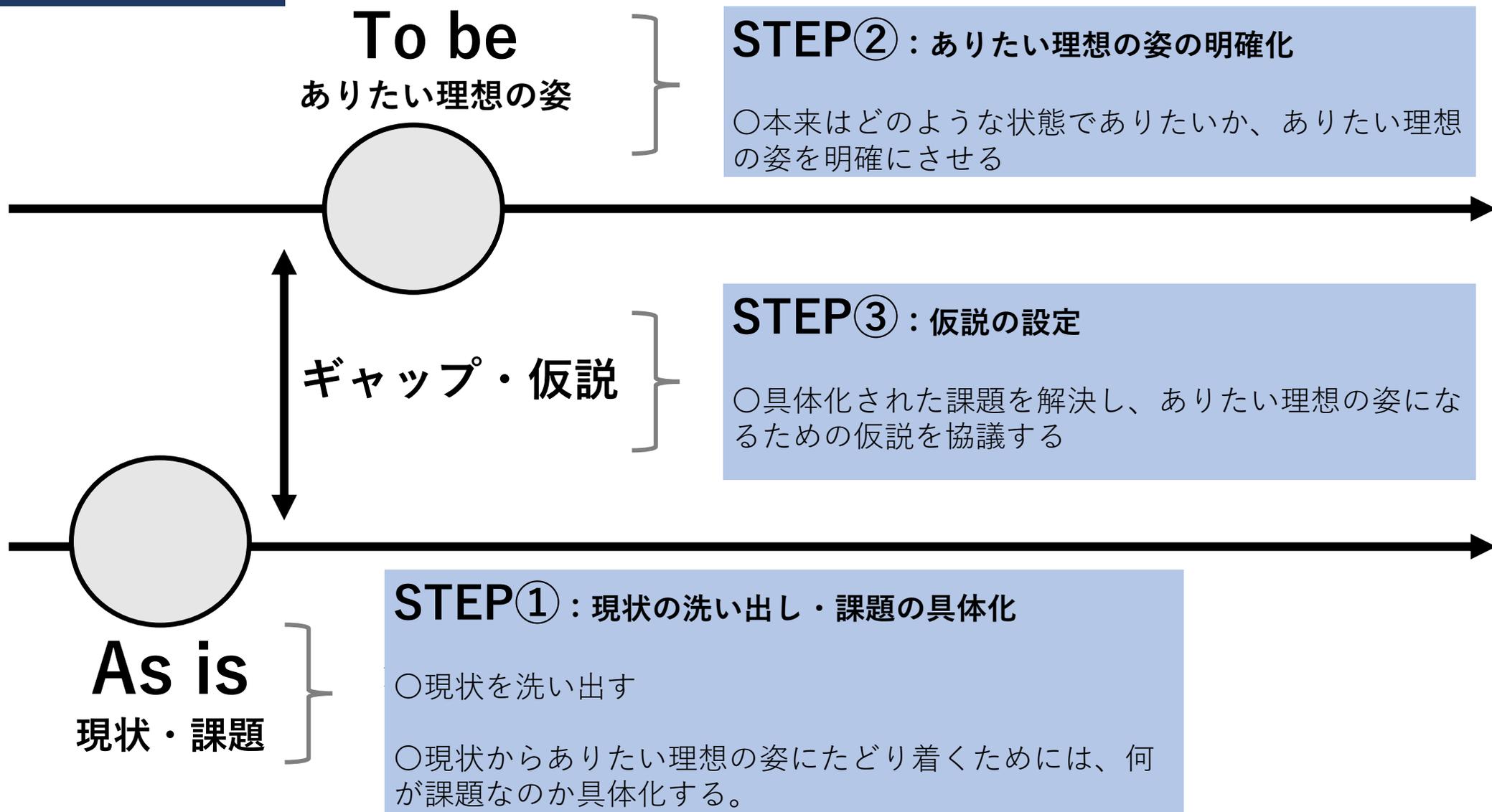
- スマートシティ推進アドバイザー
横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院
有吉特任准教授 (専門分野：交通計画、交通行動分析)

目次

1. 市民参加型共創プラットフォームとは
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
- 3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り**
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

西鎌倉地域での試験運用の流れ

流れ



～西鎌倉地域の「魅力」と「課題」について考える～

Q1 (オンライン)

あなたの「西鎌倉の好きな場所」はどこですか？その理由はなんですか？

Q2 (オンライン)

「●●だから行きにくいんだよね」といった悩みはありますか？

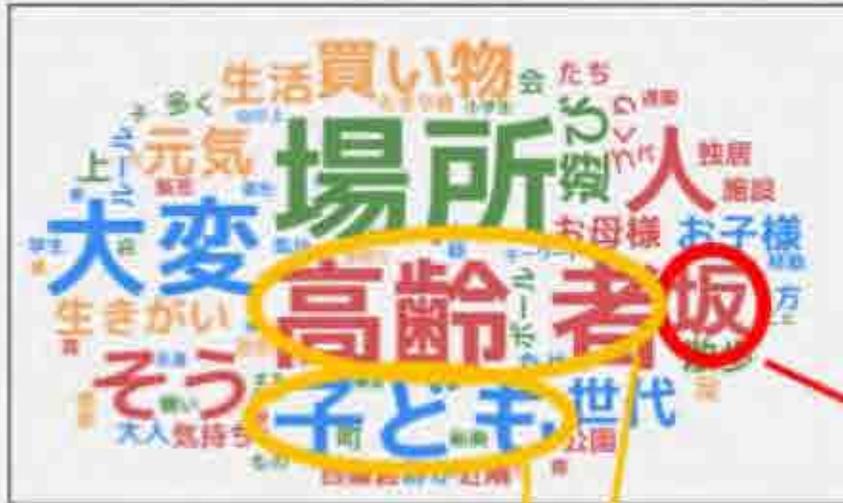
ワークショップ

西鎌倉の『「XXさん」が「〇〇」に困っていそうだ』エピソードは？

西鎌倉地域でのこれまでの取組 (STEP 1)

これまでの市民参加型オンライン共創プラットフォーム「Liqid」でのやりとりを「ワードクラウド*」で可視化

11月19日ワークショップの際に投稿された
『「XX」さんが「OO」に困っていそうだ』



子ども・高齢者のみなさんは
他世代と相対的に、**地域内が基盤**

Q.2「行きにくい悩みは？」に投稿された内容



歩道・車・駅・バス・坂・・・
移動 (手段・困りごと) の投稿頻度が高い

×

「ワードクラウド」とは：

投稿を全て単語後とに分けて、回数が多いものを大きく表示しています。
これで、投稿された頻度を視覚的にわかりやすくします。

鎌倉市 市民参加型共創プラットフォームでは、ダッシュボードから閲覧できます。

～西鎌倉の「地域内の移動」について考える～

Q3 (オンライン)

西鎌倉地域で歩いて出かける時ってどんな時？

Q4 (オンライン)

どうなったらもっと出かけやすく、または、出かけたくなると思いますか？

ワークショップ

- ①「自分自身」から「身の周りの方（まち）」の視点を変え、議論を展開させる
- ②出かけたくなる「目的」と出かけやすくなる「手段の視点で、再度考える

西鎌倉地域でのこれまでの取組 (STEP 2)

出かけたくなる「目的」の充実

区分	分類	自分の視点	身の周りの方(まち)の視点
	地域の情報ポータル	4	1
	夜間の居場所	3	0
	観光客の皆さんとの共存	2	1
	集まれる公共スペース	2	0
	マップ等による周辺情報の整理	1	0
	商業エリアの創出	1	0
	歩いて楽しい歩道の創出	0	2
	駅などのバリアフリー対策	0	1
	子どもが遊べる場所の創出	0	0
	イベント等による、まちの賑わいの創出	0	0
		13	5

出かけやすくなる「手段」の充実

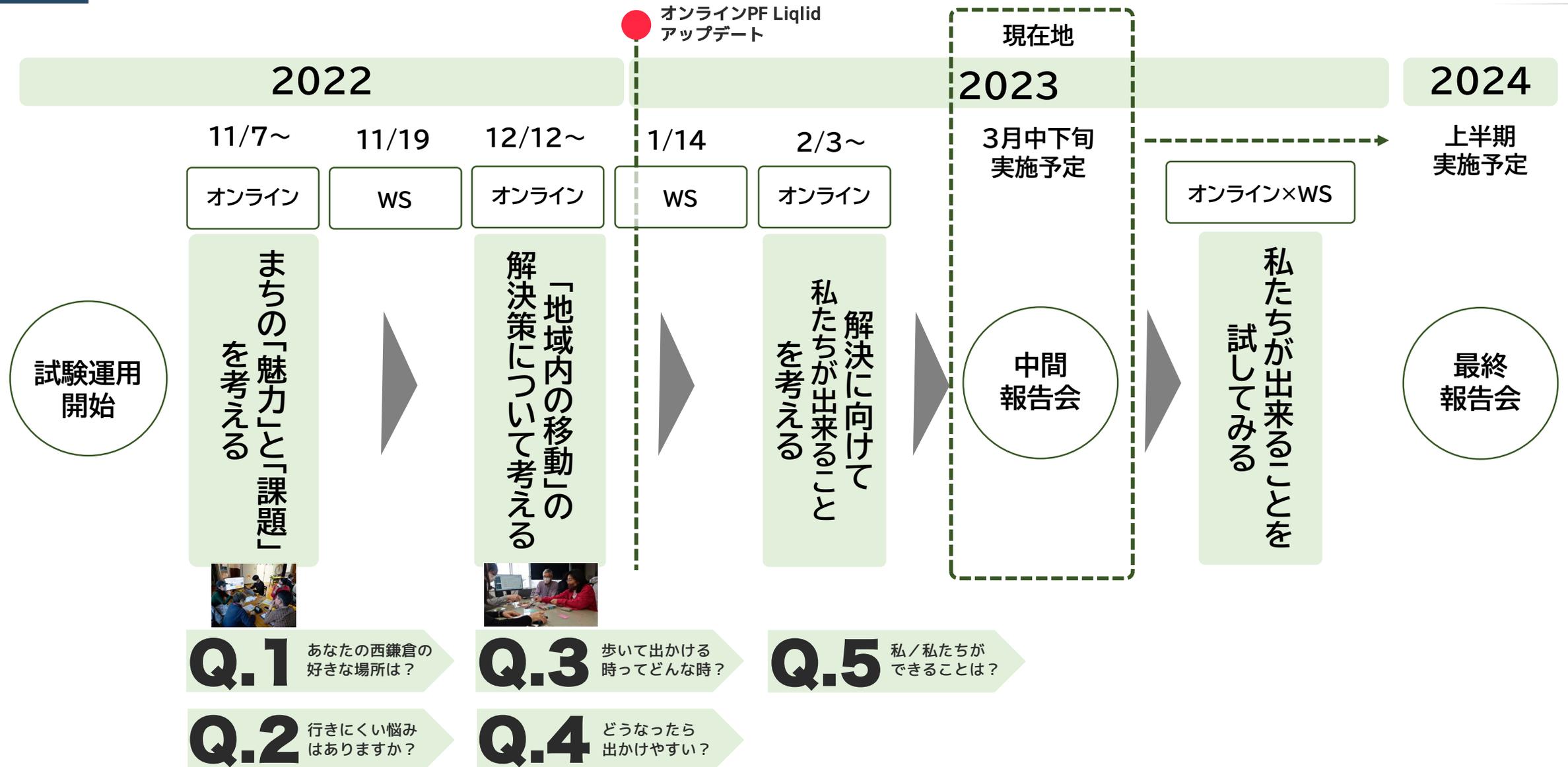
区分	分類	自分の視点	身の周りの方(まち)の視点
	安全・安心な歩道	1	6
	買い物のサポート(デリバリーなど)	0	5
	公共交通機関の充実	4	0
	最新技術による移動手段	2	1
	駐輪場・駐車場の充実	1	0
	渋滞の解消	0	1
	シェアリングサービス	1	0
		9	13

オンライン共創プラットフォームLiqlidと Liqlidへの参加者数・投稿数の推移について

令和5年3月11日 鎌倉市 市民参加型共創プラットフォーム 中間報告会

発表者：株式会社Liquitous 栗本 拓幸

西鎌倉地域での試験運用の流れ



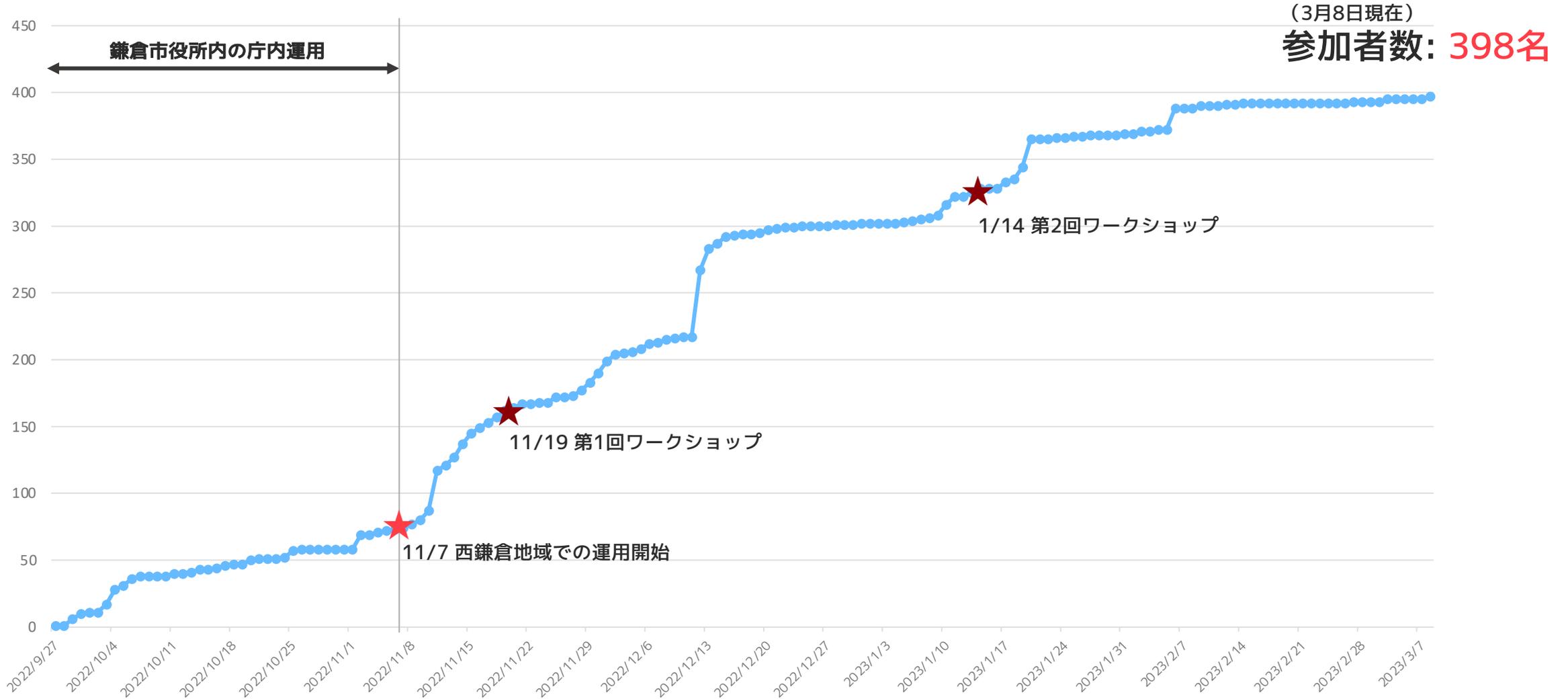


オンライン共創プラットフォームの動きについて

2-1

アカウント登録者数の推移

累計 / アカウント作成日



2-2-1 Q.1/Q.2のアイデア投稿数推移

(Q.1/Q.2の前提情報ページから引用)

いつまでも住み続けたい西鎌倉を、皆さんで考える上で、「発見、ここいいね西鎌倉！」を切り口として、まずは次の2つのことをお尋ねしたいと思います。

Q.1 「西鎌倉の好きな場所」はどこですか？

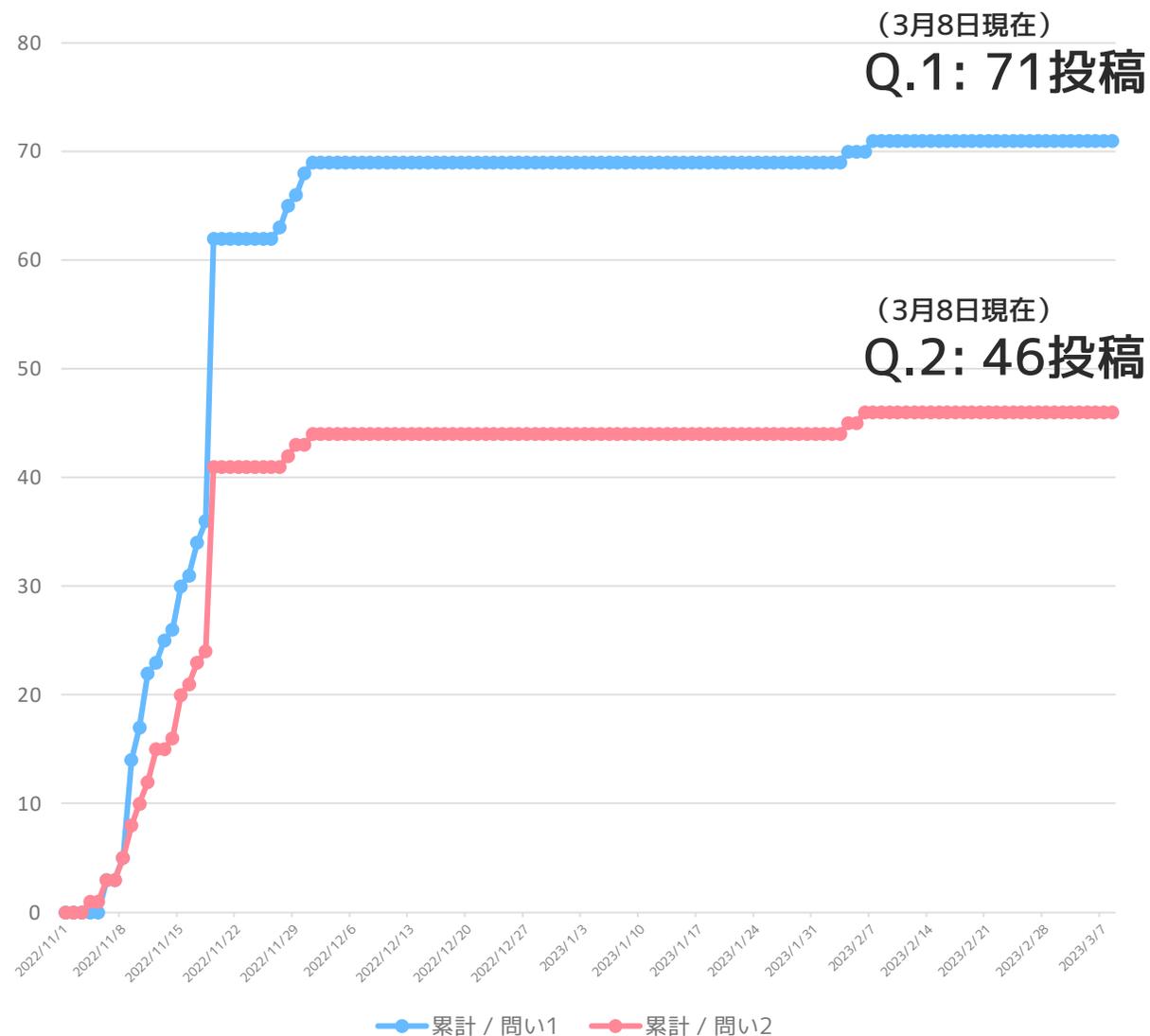
(西鎌倉の"魅力"を探索する質問)

Q.2 「●●だから行きにくいんだよね」

といった悩みはありますか？

(もっと良くなるといい点を探索する質問)

Q.1, Q.2のアイデア投稿数の推移



2-2-2 Q.1/Q.2のワードクラウド

ワードクラウドとは、投稿された文章を単語ごとに分解し、投稿頻度が高い単語をより大きく表示することで、投稿の傾向を把握するための分析手法です。

Q.1 「西鎌倉の好きな場所」はどこですか？

(西鎌倉の"魅力"を探索する質問)



Q.2 「●●だから行きにくいんだよね」といった悩みはありますか？

(もっと良くなるといい点を探索する質問)



2-3-1 Q.3/Q.4のアイデア投稿数推移

(Q.3/Q.4の前提情報ページから引用)

(前回WSを踏まえて、)多くの魅力的な資源が存在する「**地域内**」にフィールドを絞り込みました。(中略)歩道や車、バス、駅など、交通手段についての言及が多かったことから、「**移動**」について考えることとしました。これらの結果から、新しく投げかける問いは「**地域内の移動**」をテーマに設計をしています。

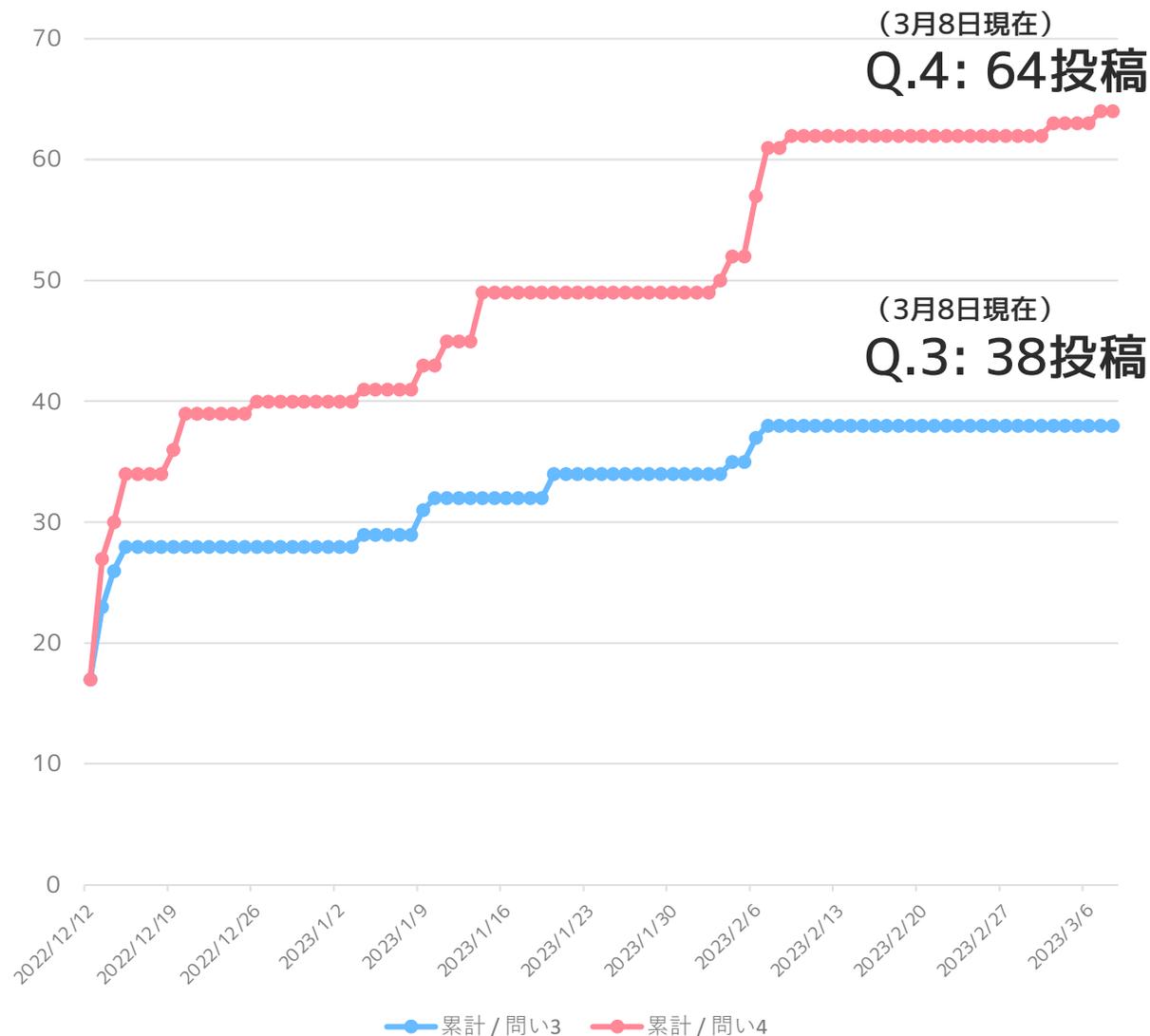
Q.3 西鎌倉地域で歩いて出かける時ってどんな時？

(例えば、クリニックに通院する時、友達の家遊びに行く時、最寄りの駅までバスで行く時、など)

Q.4 どうなったらもっと出かけやすく、または、出かけたくなると思いますか？

(例えば、自宅から〇〇までxxしないで行けるようになったら/自宅から〇〇のところにxxがあったら/など)

Q.3, Q.4のアイデア投稿数の推移



2-3-2 Q.3/Q.4のワードクラウド

ワードクラウドとは、投稿された文章を単語ごとに分解し、投稿頻度が高い単語をより大きく表示することで、投稿の傾向を把握するための分析手法です。

Q.3 西鎌倉地域で歩いて出かける時ってどんな時？

(例えば、クリニックに通院する時、友達の家遊びに行く時、最寄りの駅までバスで行く時、など)



(3月8日現在)
Liqidから引用

Q.4 どうなったらもっと出かけやすく、または、出かけたくなくと思いますか？

(例えば、自宅から〇〇までxxしないで行けるようになったら/自宅から〇〇のところにxxがあったら/など)



(3月8日現在)
Liqidから引用

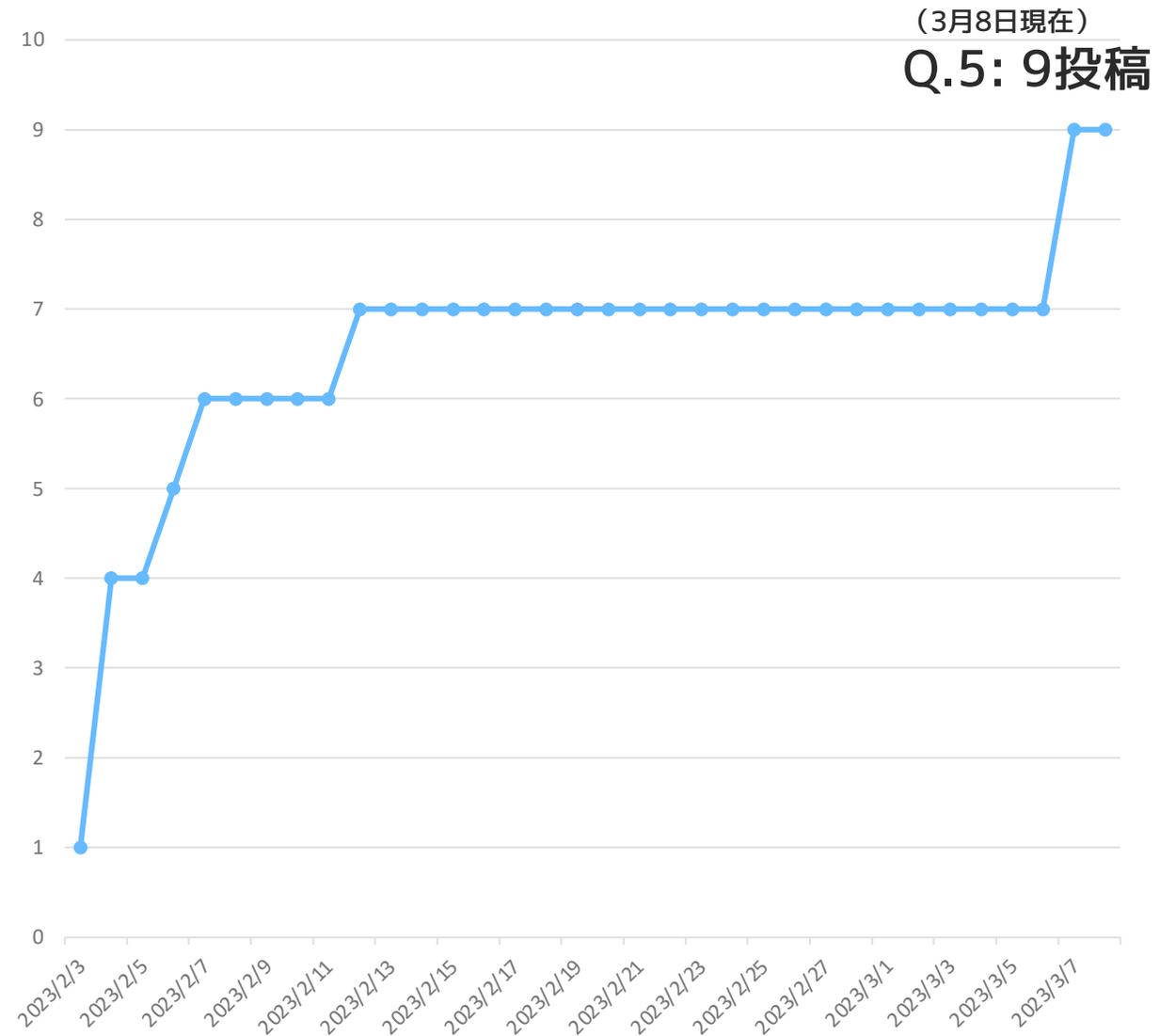
2-4-1 Q.5のアイデア投稿数推移

(Q.3/Q.4の前提情報ページから引用)

オンラインやワークショップに参加されている皆さんが、「自分自身」の課題と感じる「出かけたくなる目的の充実」について、次のことをオンライン上で考えていきたいと思います。

Q.5 出かけたくなる「目的」の充実のため、「私/私たちができること」

Q.3, Q.4のアイデア投稿数の推移



2-4-2 Q.5のワードクラウド

Q.5 出かけたくなる「目的」の充実のため、
「私／私たちができること」

ワードクラウドとは、投稿された文章を単語ごとに分解し、投稿頻度が高い単語をより大きく表示することで、投稿の傾向を把握するための分析手法です。



(3月8日現在)
Liqidから引用



オンライン共創プラットフォームの機能について



統計分析機能

Ver2 注目機能



MAP (位置情報登録) 機能



- 1 **アイデアを出す**
思いついた考えを自由に投稿
- 2 **プロジェクトを作成**
アイデアを選び議論のたたき台を
- 3 **議論する**
参加者の意見や「いいね」で議論進行
- 4 **案を修正**
案の修正を重ねて議論は深まる
- 5 **投票する**
高度な投票機能を実装
- 6 **結果を確認**
結果は即時開票、すぐに確認。



Ver2 モバイル環境にも 対応

※ソフトウェアの画面は開発中のものです。実際の画面とは異なる場合があります。

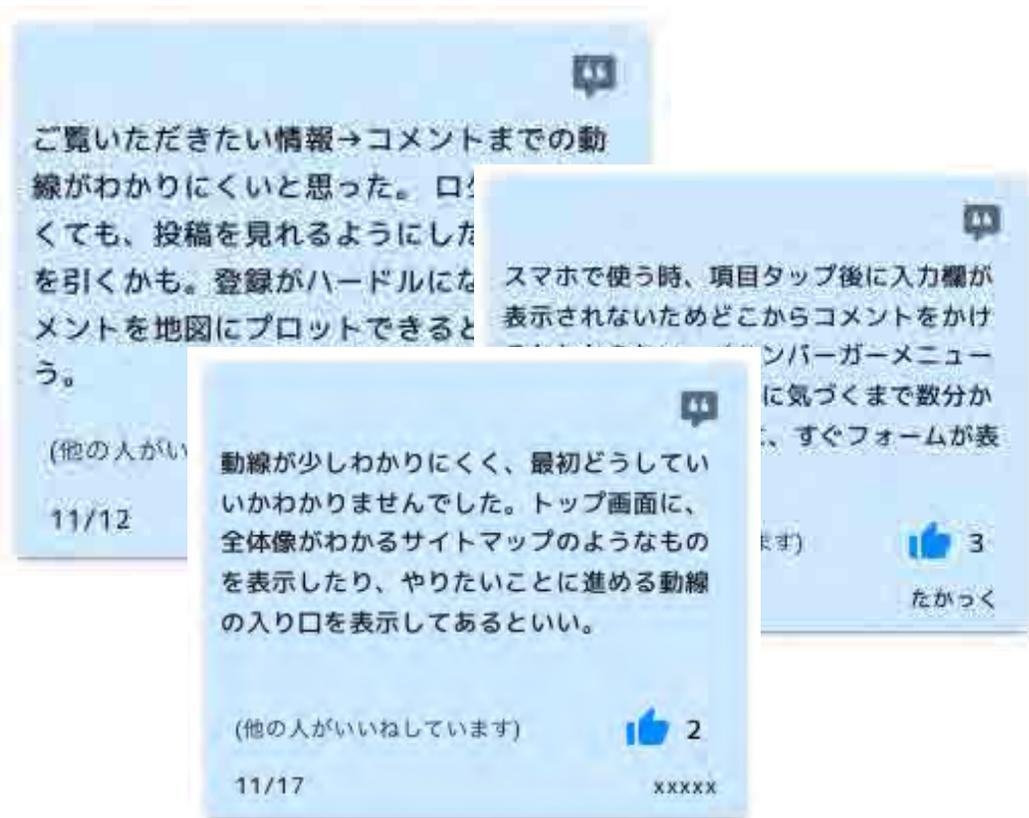
3-2 オンライン共創プラットフォーム「Liqlid」機能の整理

	情報提供	意見聴取	関与	協働	権限移譲
IAP2スペクトラム*における、各フェーズにおける「市民の約束」	市民に対して情報提供を行う	市民に対して情報を提供し、懸念や要望に耳を傾け理解し、市民の意見が決定にどのように影響したかをフィードバックする。	市民と協力して、市民の懸念や要望が設定された選択肢に直接反映されるようにし、また、市民の意見が決定にどのように影響したか、フィードバックする。	解決策を作る際に、市民に対してアドバイスやイノベーションを求め、そのアドバイスや提案を可能な限り決定に反映させる。	市民が決定したことを実行する。
Liqlidの機能	ホーム画面 各テーマでの前提情報ページ	アイデア募集機能 統計分析機能	プロジェクト機能 ┆ アイデア採用機能 ┆ 施策案公開機能 ┆ チャット機能 ┆ 施策案への修正提案機能	プロジェクト機能 ┆ 修正提案採用機能 ┆ 「新しい施策案」登録機能 ┆ 投票機能	—
Liqlidの画面イメージ	 <p>ホーム画面</p>  <p>各テーマごとの情報提供画面</p>	 <p>各テーマごとのアイデア投稿画面</p>  <p>各テーマごとのアイデア分析画面</p>	 <p>各テーマ内のプロジェクト（施策案の一式）でチャットの投稿画面</p>	—	—

■ IAP2スペクトラムとは

国際市民参加協会（IAP2）は、「Spectrum of Participation（市民参加のスペクトラム）」（以下：IAP2スペクトラム）と呼ばれる指標を開発し、世界各国の各種行政府が、市民参加の取り組みを実施する際に、参考にされることが多くあります（Bammer 2016, 石田 2021など）。

IAP2スペクトラムは、行政が実施する市民参加の取り組みを「情報提供（Inform）」「相談（Consult）」「関与（Involve）」「協働（Collaborate）」「権限委譲（Empower）」の5つの段階に整理しています。段階ごとに、異なる目的が設定されており、行政が市民参加の取り組みを行う際に、何を目的とした取り組みを行えば良いか、把握し実践に移しやすい点が特徴です。



鎌倉の皆さんからいただいた声

新・Liqlidの機能に反映！



① ログインレス閲覧機能



② マップ機能



③ 情報提供機能の強化

Liqlid Ver.2



④ 柔軟な通知機能の実装



⑤ プロフィール
認証機能の強化



⑥ ダッシュボード画面
高度な分析など機能強化

オンライン共創プラットフォーム「Liqlid」へご参加ください！

継続的に対話するためのオンラインの仕組みにご参加ください！



<https://kamakura-city.liqlid.jp>

A screenshot of the Liqlid platform interface for Kamakura City. The page features a dark blue sidebar with navigation options like 'ホーム', 'ダッシュボード', and a list of questions. The main content area has a header with '鎌倉市' and '市民参加型オンライン共創プラットフォーム' (Citizen-participatory online co-creation platform). Below this is a large teal banner with the text '鎌倉の未来を共に創る' (Creating the future of Kamakura together). The page also includes a '前提情報' (Prerequisite information) section and a '募集中のアイデア出しテーマ一覧' (List of idea-generation themes currently being collected).

ホーム

メンバー 267人 Lid数 6

前提情報

鎌倉市

市民参加型オンライン共創プラットフォーム

鎌倉の未来を共に創る

最新日付 2023/3/19 0:10:42

募集中のアイデア出しテーマ一覧

表示されているテーマをクリックして、アイデアを投稿しよう！

Q.1「西鎌倉の好きな場所」は？ Q.2 行きにくい悩みは？ Q.3.歩いて出かける時って？ Q.4.どうなったらもっと出かけやすい？ 11月19日ワークショップ用Lid 使用してみた感想

© 2023 — Liqitous

目次

1. 市民参加型共創プラットフォームとは
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
- 4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）**
5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

地域の活力を高めるモビリティサービス ～横浜郊外での取り組みから学ぶ～

2023-03-11

横浜国立大学 特任准教授 / LocaliST(株) 代表取締役

有吉 亮

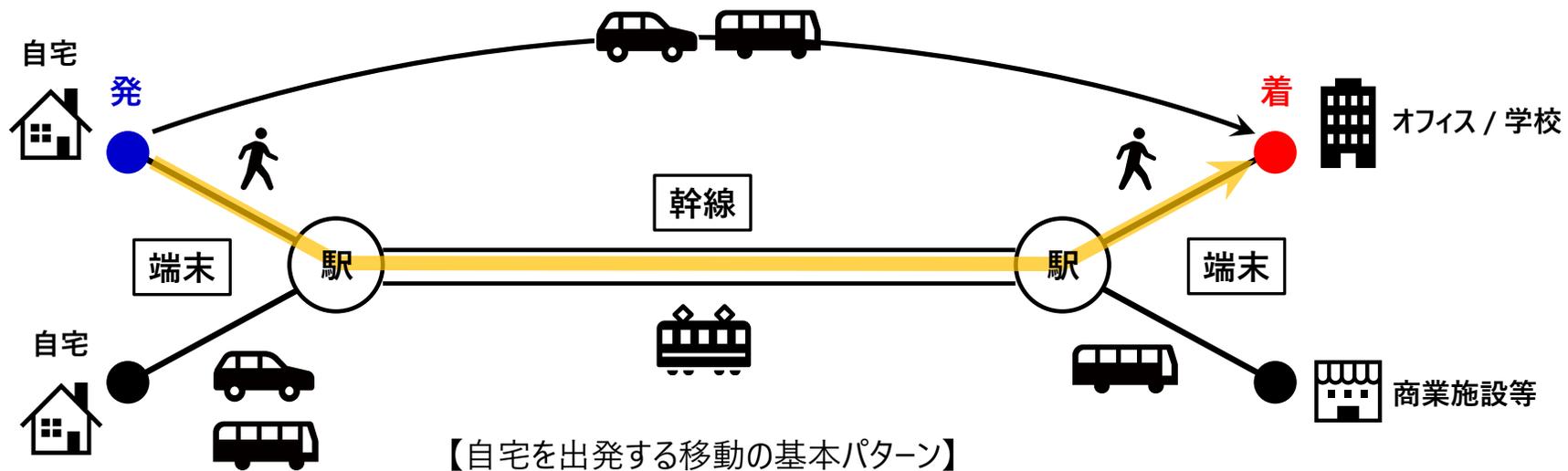
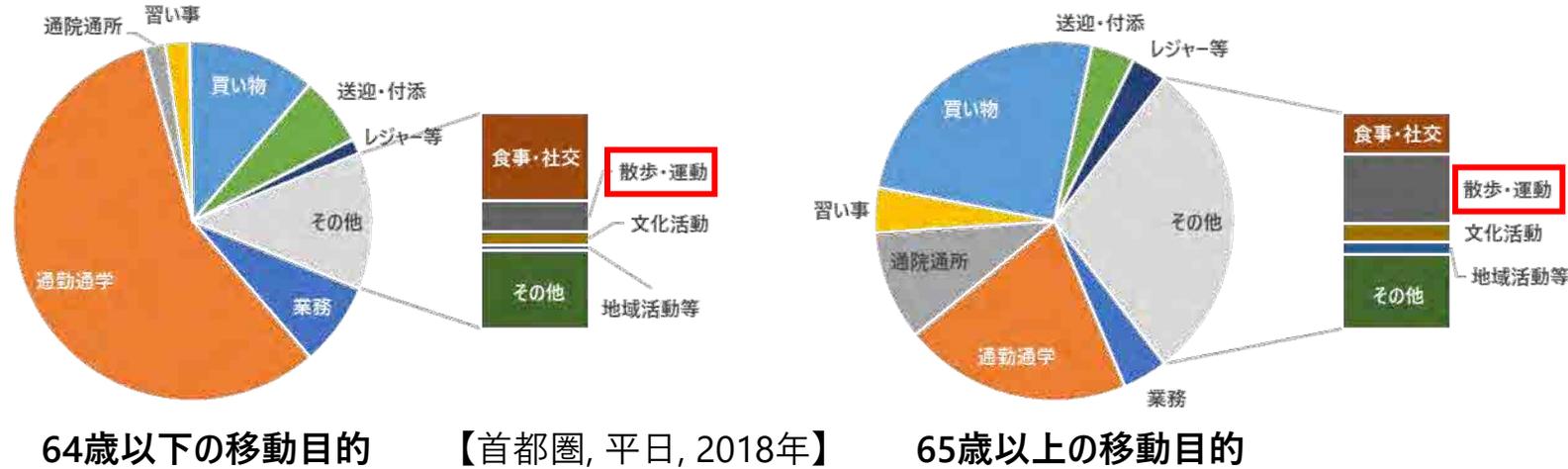
CONTENTS

1. 人々の移動にまつわる都市の問題
2. 共創型コミュニティ交通「とみおカーと」
3. モビリティの向上が地域にもたらす多面的効果

1. 人々の移動にまつわる都市の問題

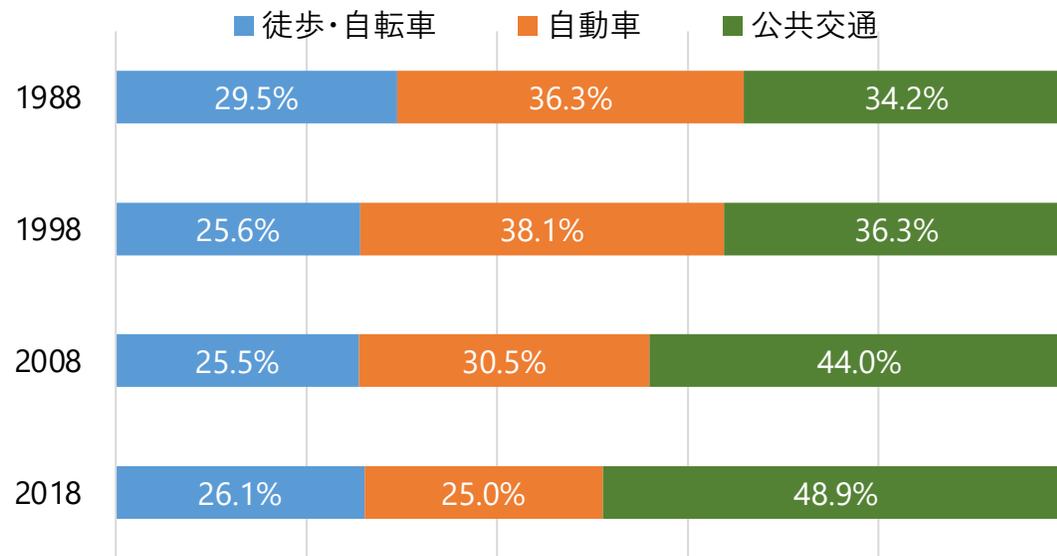
はじめに：移動は派生的な需要であることの再確認

- 人々は**本源的な活動（仕事、買物、会食等）**のために移動する。
- 散歩などの**移動自体が目的の移動**は、全体のうちの**ごく少数**。

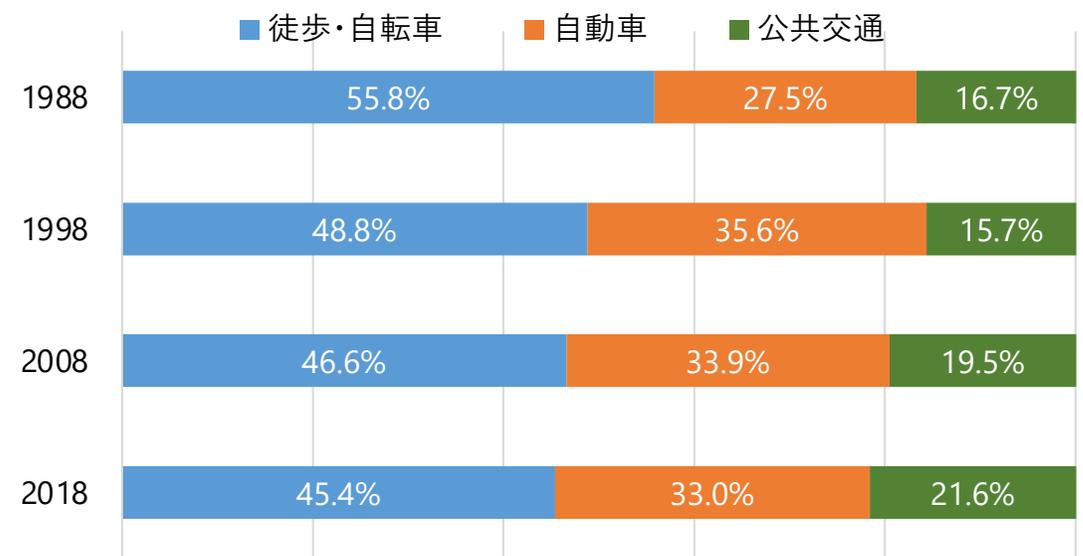


首都圏居住者の利用交通手段の変化（1）

- 仕事や学校のための移動では、公共交通の利用が増加。
- 買物やレジャーなど、私事目的の移動では、自動車と公共交通の利用が増加傾向。



【仕事・学校 関連の移動における交通手段（平日）】

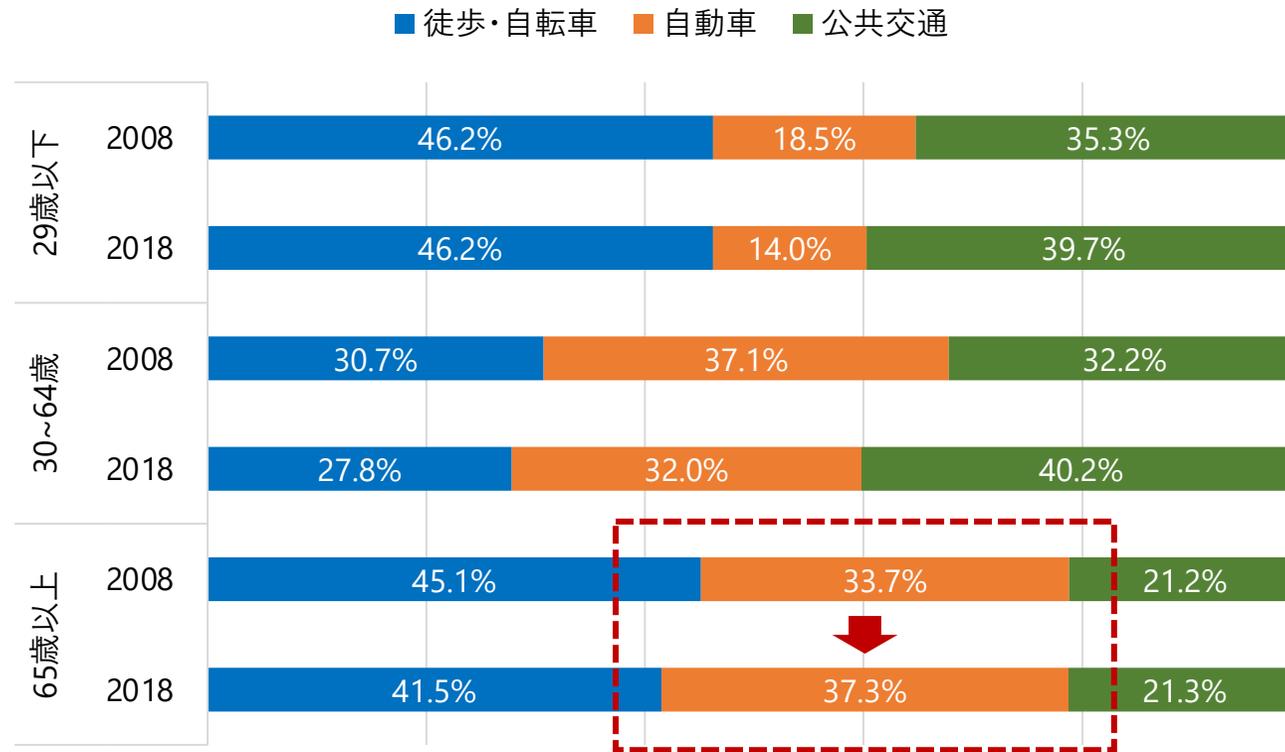


【私事 目的の移動における交通手段（平日）】

首都圏の人々はエコな
移動をするようになってきた？



首都圏居住者の利用交通手段の変化（2）



【年齢階級別の利用交通手段（平日・全目的）】

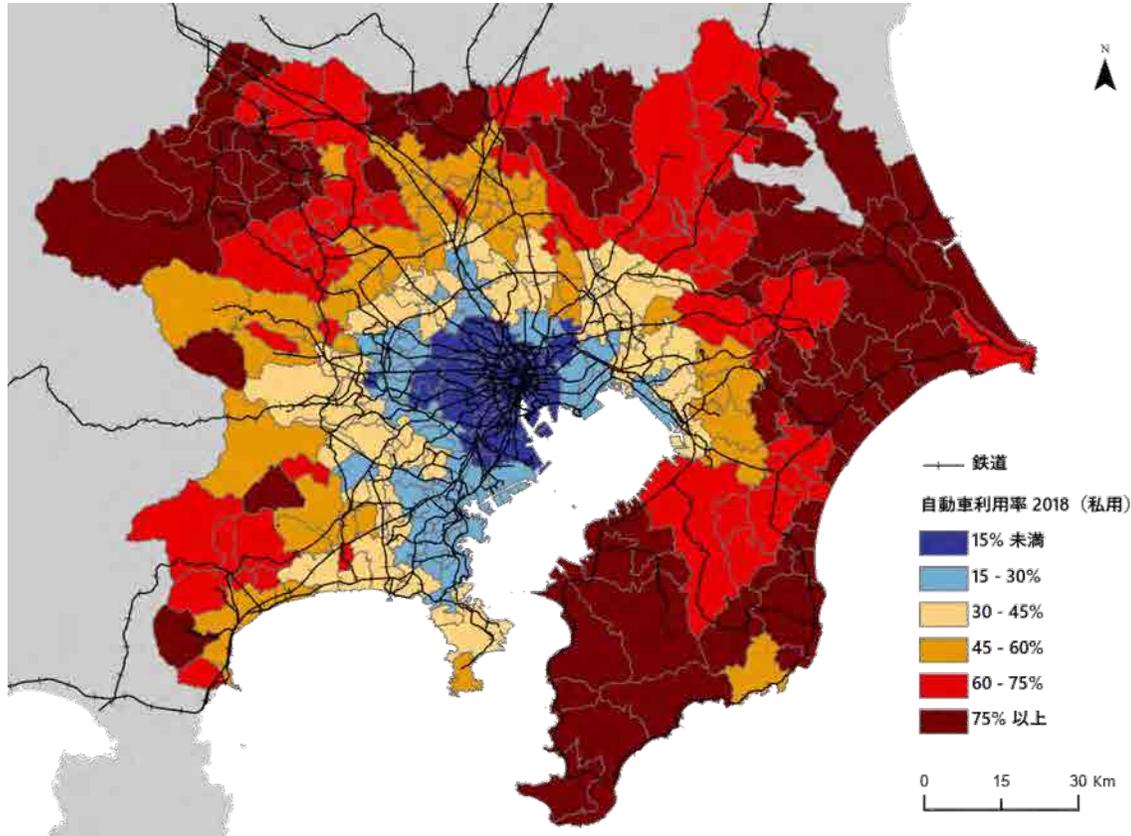
高齢者の自動車利用は増えていた。



働き世代の通勤通学に電車が使われているだけ。

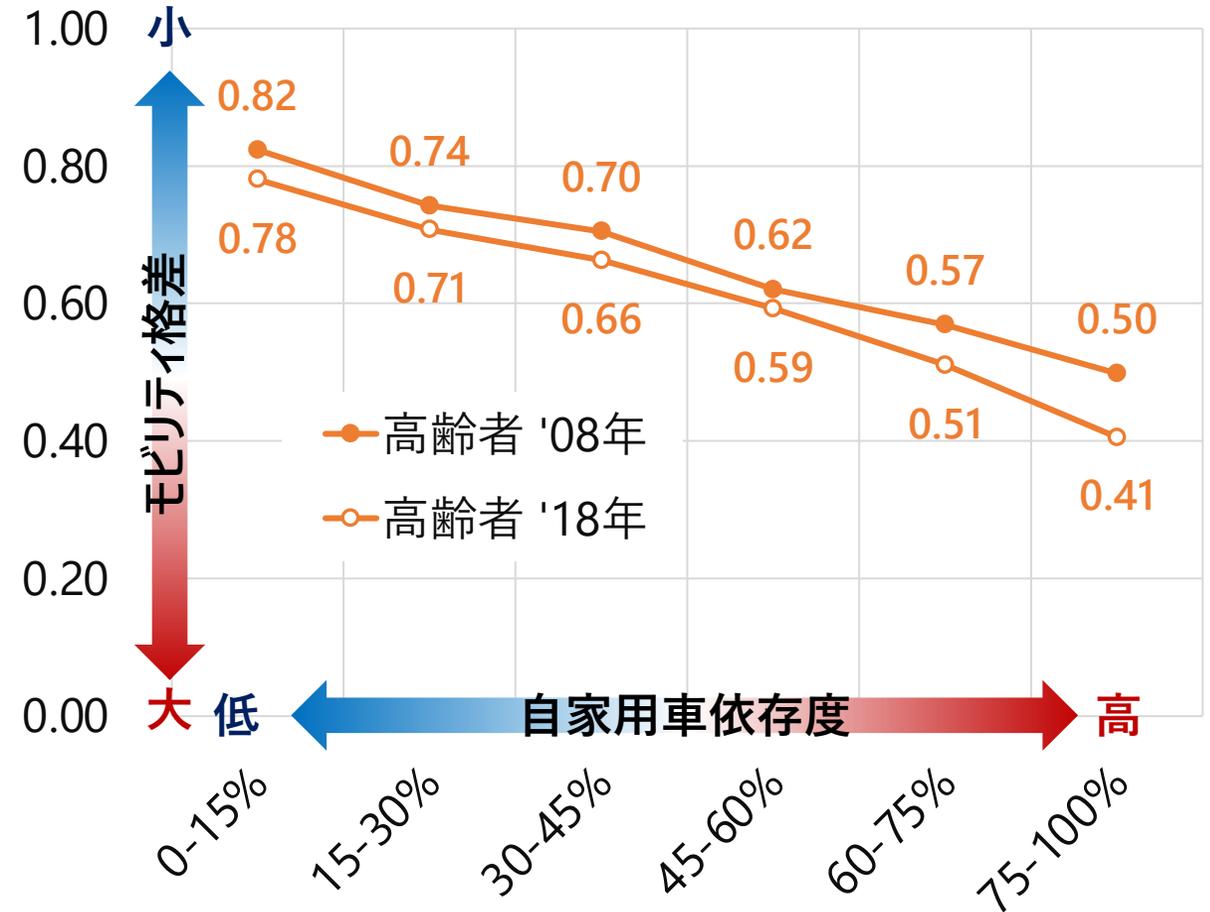
自動車依存×高齢化で拡大するモビリティの格差

- 私事目的の移動（買物、通院等）では、郊外やその外縁部で自家用車への依存がみられる。



【私事目的での自家用車利用率（2018年）】

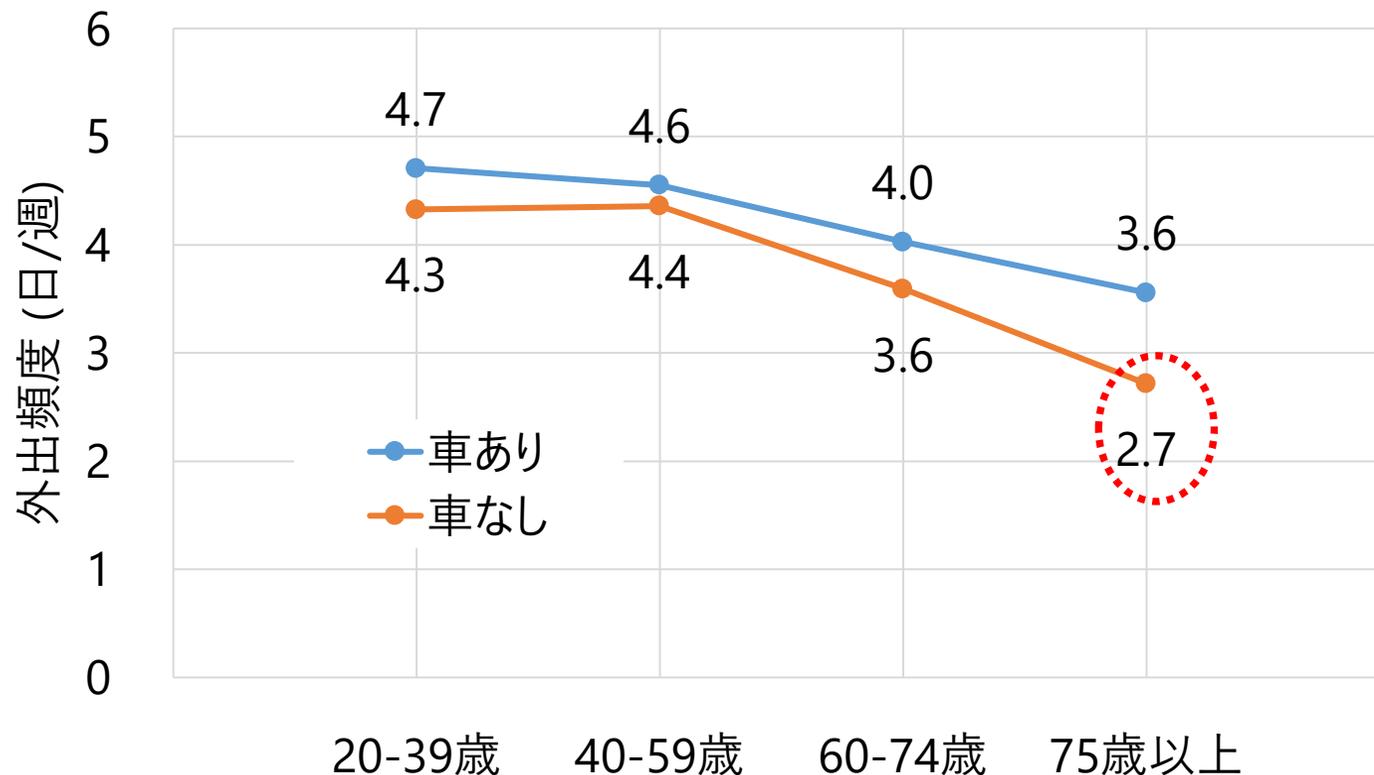
$$\text{※ モビリティ格差} = \frac{\text{自家用車を利用できない人の1日あたり移動回数}}{\text{自家用車を利用できる人の1日あたり移動回数}}$$



居住市区町村の自家用車利用率 (全目的)

マイカーの有無と外出頻度の関係（横浜市金沢区富岡地区）

- 加齢に伴って、人々の**お出かけの頻度**は減少していく。
- 特に**自家用車を利用できない層**は、その**減少度が大きい**。

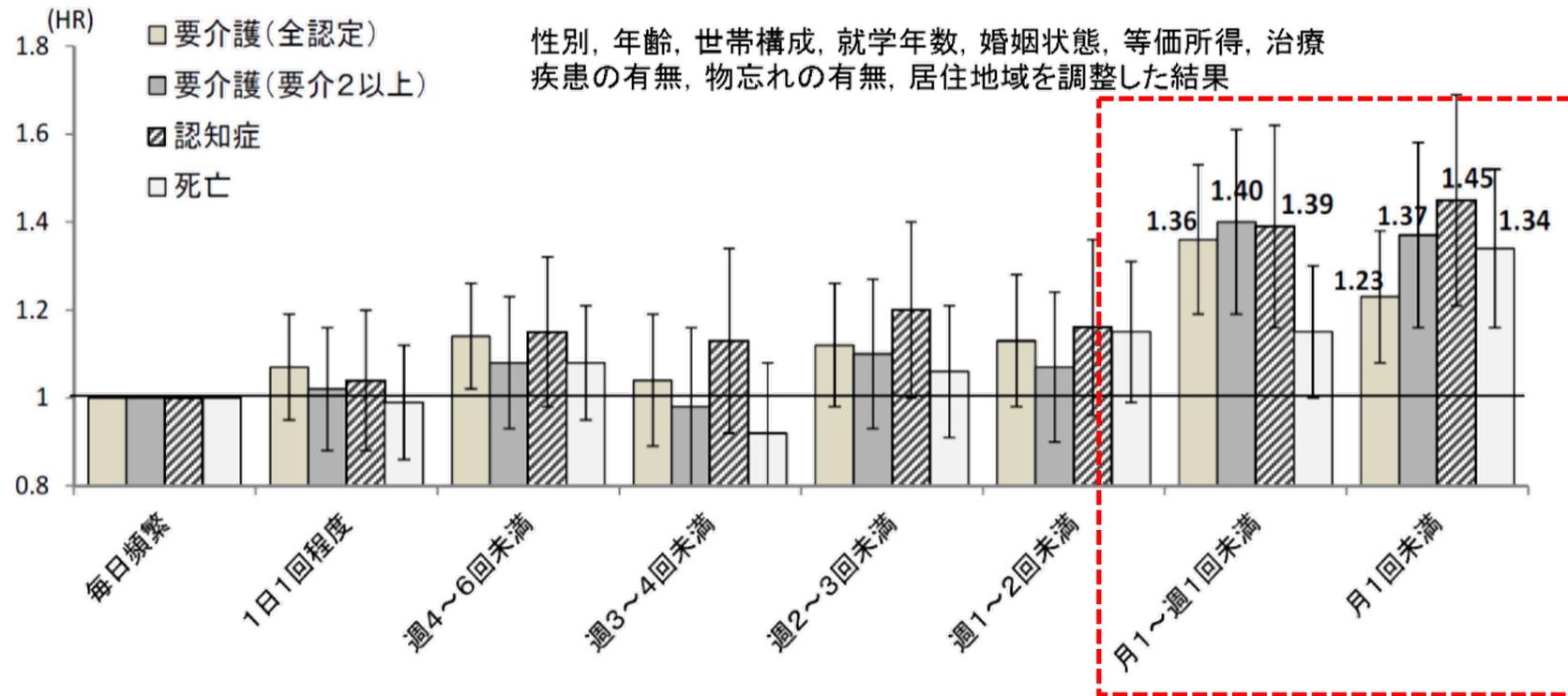


年齢階級別 利用可能な自家用車の有無別 週あたり外出日数

【富岡西エリア, 2020年】

家族以外の他者との交流が「週 1 回未満」から健康リスクに

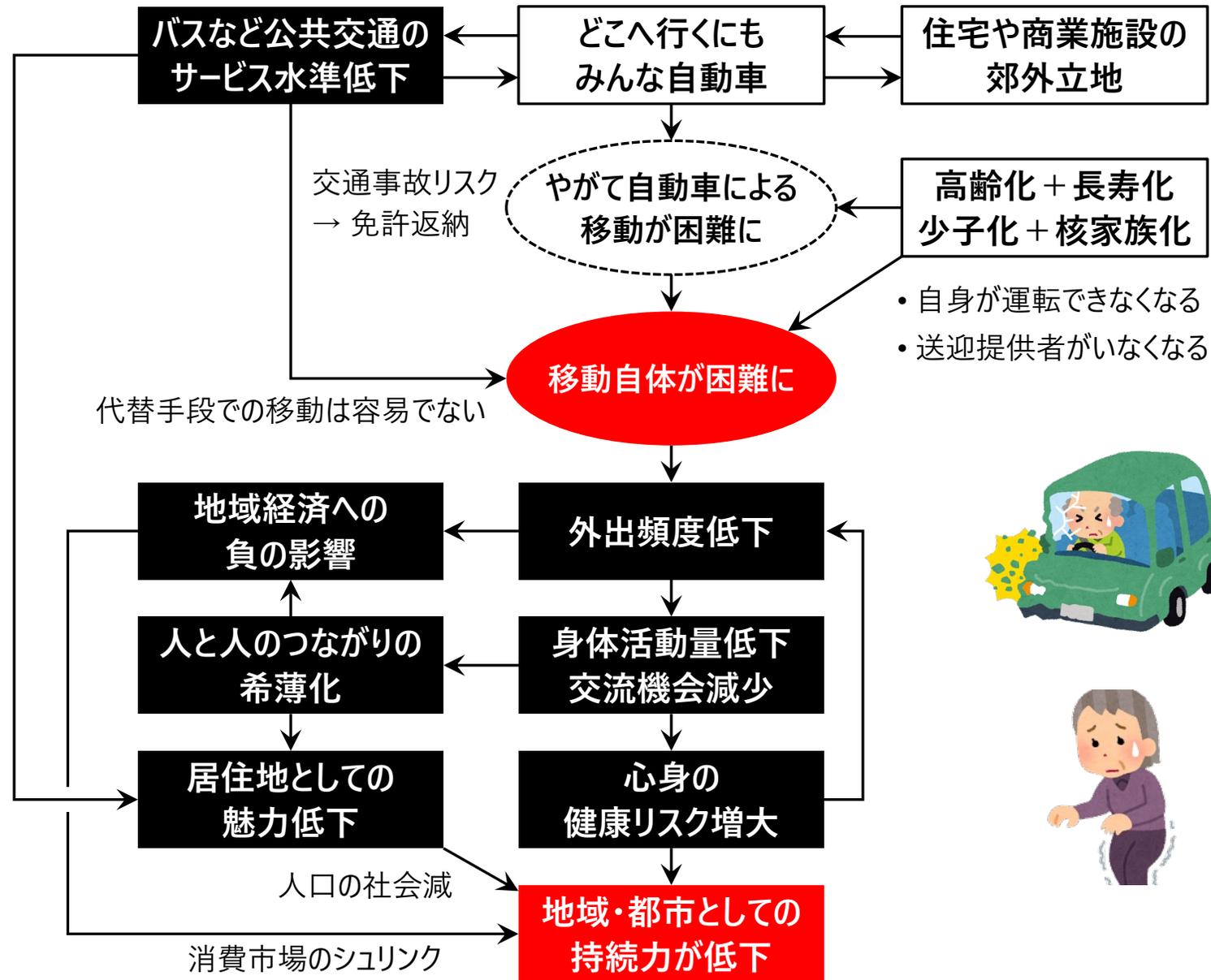
- ✦ 週1回未満は 1.3~1.4 倍要介護や認知症に至りやすい
- ✦ 月1回未満では 1.34 倍早期死亡に至りやすい



図の出典; JAGES Press Release No: 054-14-08 2015.2.26 発行
 関連論文; 斎藤雅茂・近藤克則・尾島俊之・平井寛ほか、健康指標との関連から見た高齢者の社会的孤立基準の検討、10年間のagesコホートより、日本公衆衛生雑誌、62(3)

引用：中央大学 原田昇教授講演資料 (2018.12.12)

自家用車への過度な依存は、地域の持続可能性を低下させる



目次

1. 市民参加型共創プラットフォームとは
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
- 5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）**
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

2. 共創型コミュニティ交通「とみおカーと」

対象地域：横浜市金沢区富岡西エリア（1）

- 人口：約 1.6 万人、高齢化率：約 25%、京急電鉄が 1960 年代以降に宅地開発
- 最寄駅：京急富岡（京急本線）、横浜駅まで約 20 分
- 急勾配の坂道が多く、駅やバス停への徒歩アクセスが容易でない地区あり

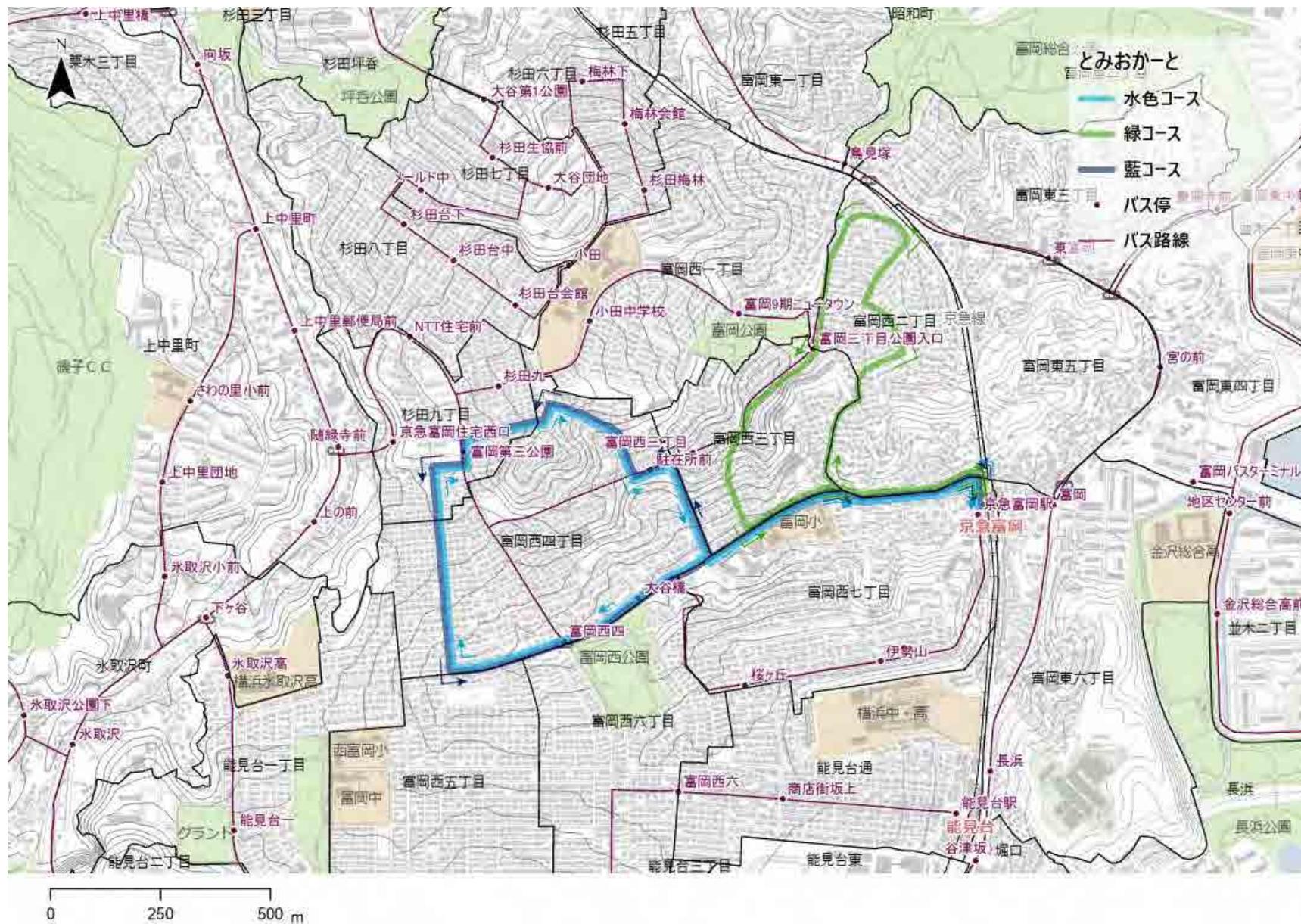


写真提供：早内玄氏（横浜国立大学 交通と都市研究室）

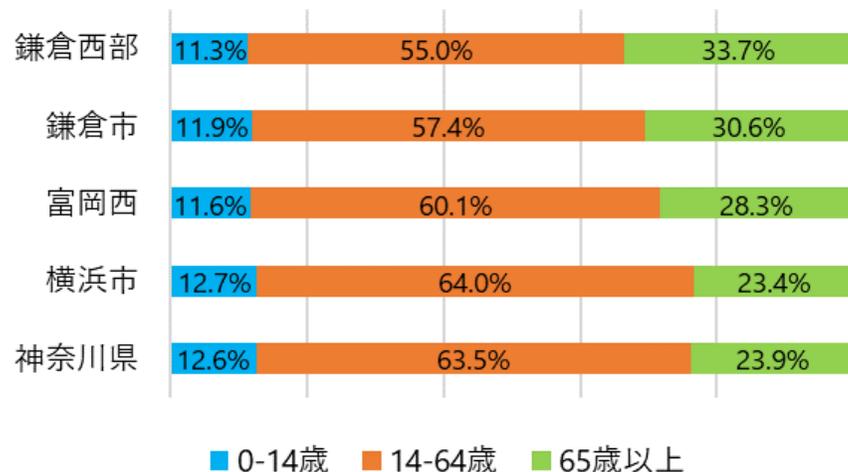
参考：富岡・能見台と鎌倉西部の比較（1）

富岡・能見台地区

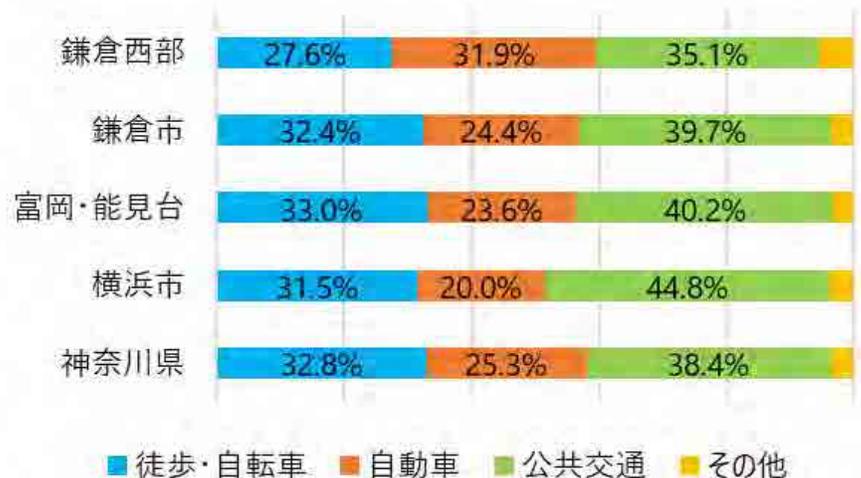
(人口密度：約 100 人/ha)



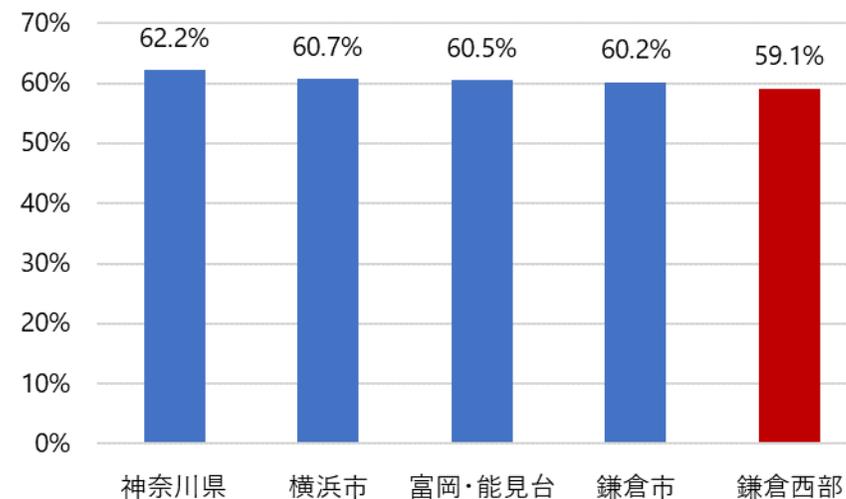
参考：富岡・能見台と鎌倉西部の比較（3）



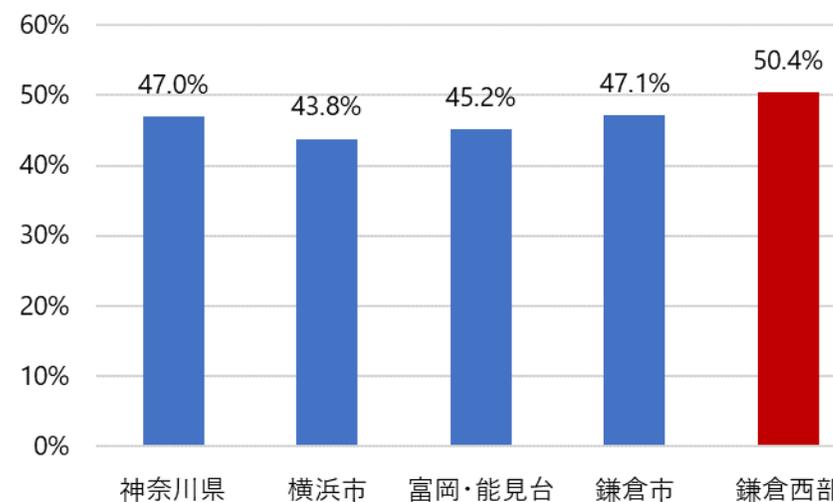
年齢構成
(2015年国勢調査)



平日の移動における交通手段の構成
(2018年 東京都市圏パーソントリップ調査)



自動車運転免許を持つ人の割合
(2018年 東京都市圏パーソントリップ調査)



自由に運転できる自家用車を持つ人の割合
(2018年 東京都市圏パーソントリップ調査)

富岡西エリアにおける移動の課題

- 駅やバス停と自宅をつなぐ移動手段の不足、高低差による徒歩の負担
- 日常生活における自家用車への依存、将来自家用車を利用できなくなることへの不安

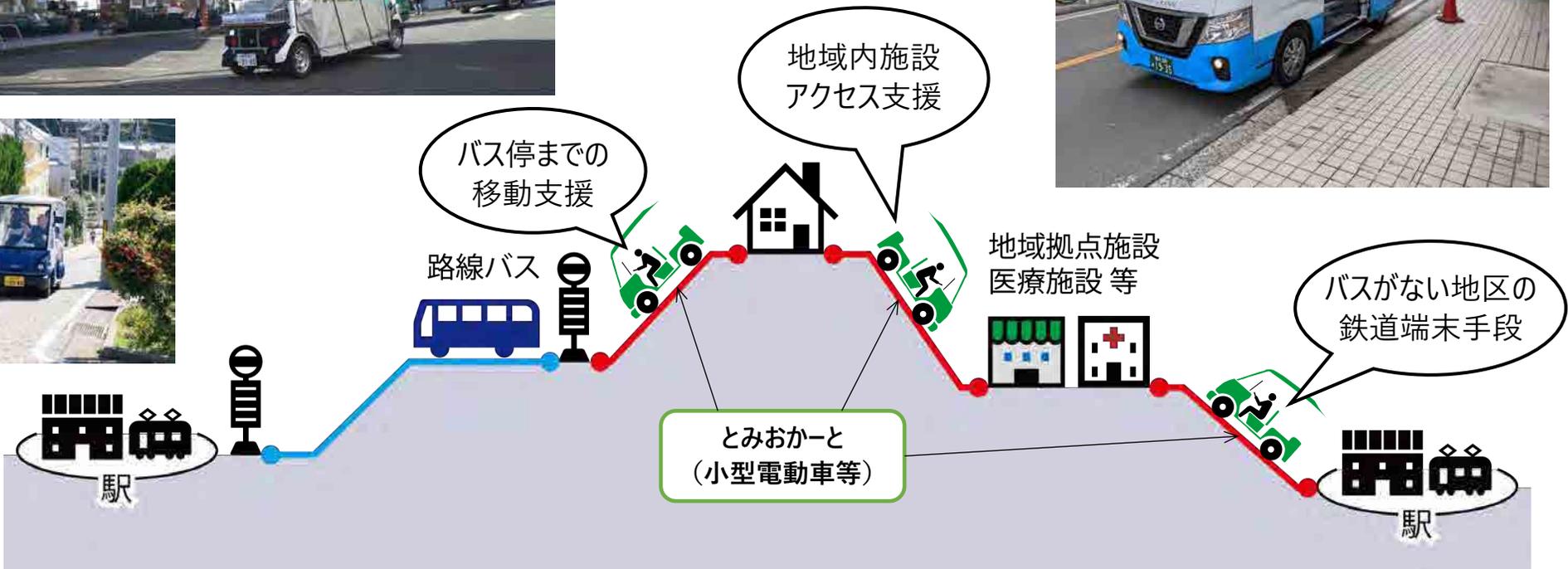
【富岡西エリア居住者の声※】

- ✓ 電車を利用するとき、駅までバスを利用するが、自宅からバス停までが坂道のため、**天気が悪い時はタクシー利用**になってしまう。（70代女性）
- ✓ **買物と病院に車が必需品**。明るい時間のみ運転するようにしている、**車に乗れなくなったら一人での生活が出来なくなる**と恐れている。（80代女性）
- ✓ **バスのステップは昇れないので利用できない**。（80代男性）
- ✓ 買物の際、行きは京急バス利用ですが、**帰りはいつもタクシー**（坂道上りのため）。その**費用に困っています**。（60代女性）
- ✓ 今はまだ不便を感じないが、**年齢が上がるにつれて坂道が大変**になると思う。（60代女性）
- ✓ この地域は**坂が多いので老後が心配**。（40代女性） など

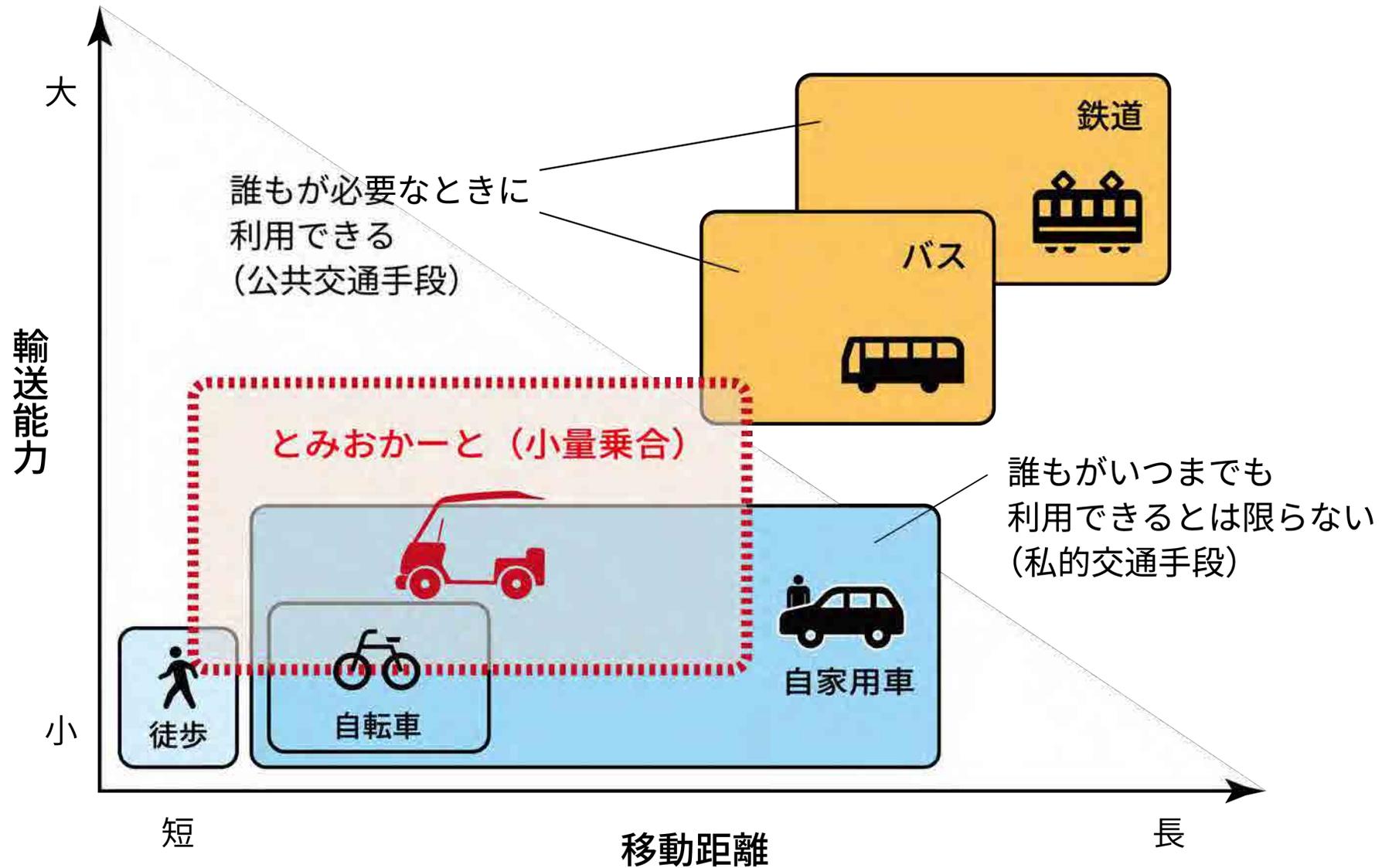
※ 2018年 移動実態調査の自由回答より

地域内拠点へのアクセス交通サービス：「とみおカーと」

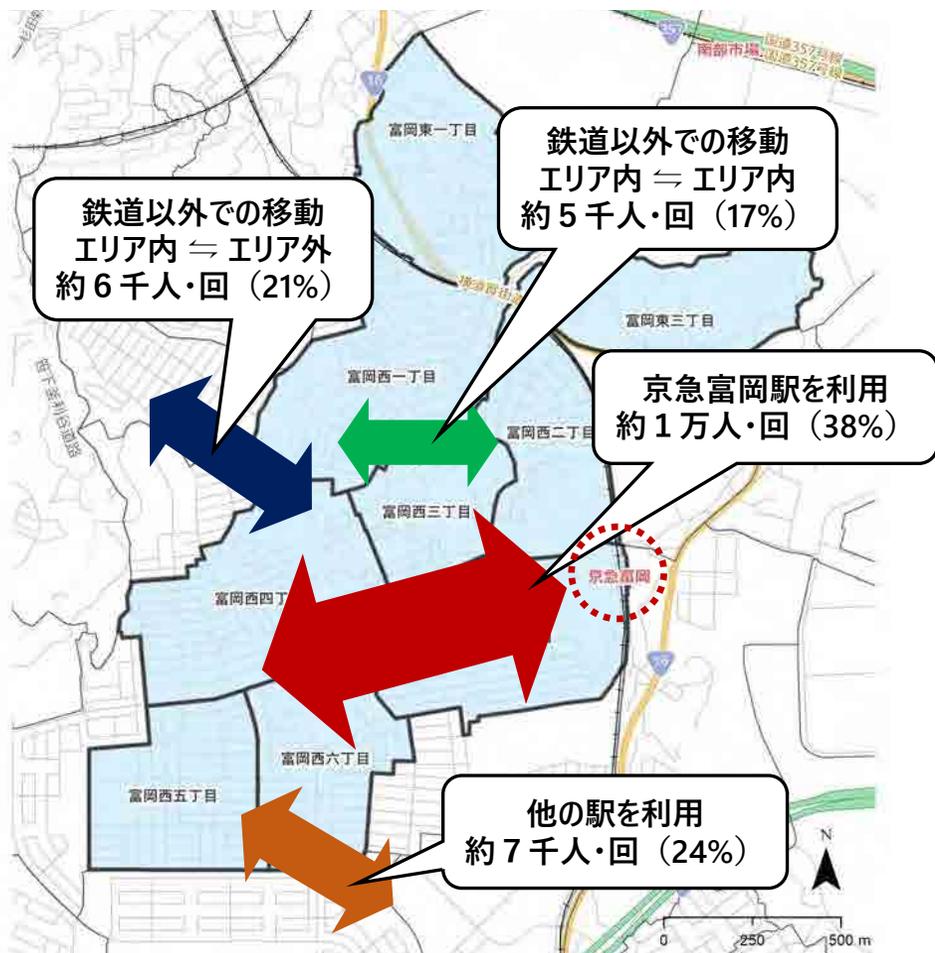
- ◎ **小型車両** を用いた **小量乗合輸送サービス** → バス、タクシーなどの既存公共交通の補完
- ◎ 高齢化が進む山坂の多い住宅地で、**誰もが無理なく地域内を移動できる** ように
- ◎ **徒歩と鉄道（駅）が中心** の生活様式維持、**沿線住宅地としての魅力向上**



「とみおカーと」は、モビリティの隙間を埋める乗り物



地域の交通需要データに基づくサービスの設計



富岡西エリア居住者の移動回数
(2018年9月の平日1日あたりの推計値)



富岡西エリア居住者の移動目的地
(2020年12月上旬のある一日における移動)

とみおかーと 2021 実証実験概要

- 運行期間 2021年11月1日 ~ 2022年1月31日のうち、**75 日間**
- 運行区域 **緑ルート** 京急富岡駅 ⇄ 富岡西2丁目・3丁目地区 (約2.7km)
藍ルート 京急富岡駅 ⇄ 富岡西4丁目・5丁目地区 (約3.8km)
- 運営者 京浜急行電鉄(株)
- 運行事業者 京急横浜自動車(株)
- 運行形態 **道路運送法第21条**による乗合旅客運送
- 運行方式 **路線運行 (フリー乗降)**
- 運行時間帯 平日・土曜 8:30 頃 ~ 18:00 頃
(日曜、祝日運休)
- 運行間隔 約 55 分間隔 (2 コースを 1 台で運行)
- 運賃 **大人 200 円**
小人 100 円 (未就学児無料)
- 支払方法 現金、二次元バーコード決済、
クレジットカード決済
- 運行車両 一般自動車 1 台 (定員10人)



【運行区域図】

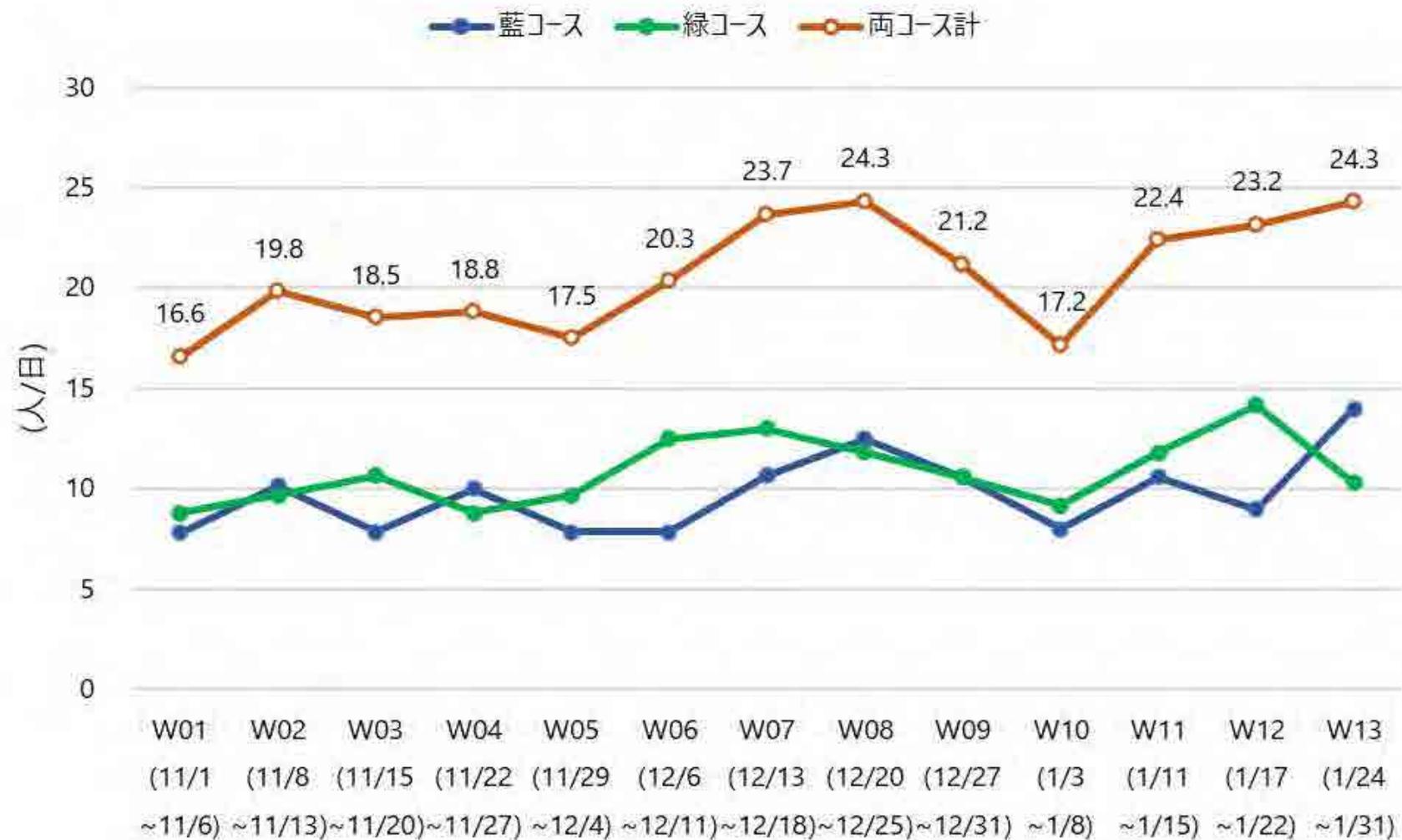


とみおかーと 2021 利用実績 (75日間)

延べ利用者数 (75 日間)
1,552 人

1 日あたりの利用者数

藍コース 9.8人/日
 緑コース 10.9人/日
 両コース計 20.7人/日



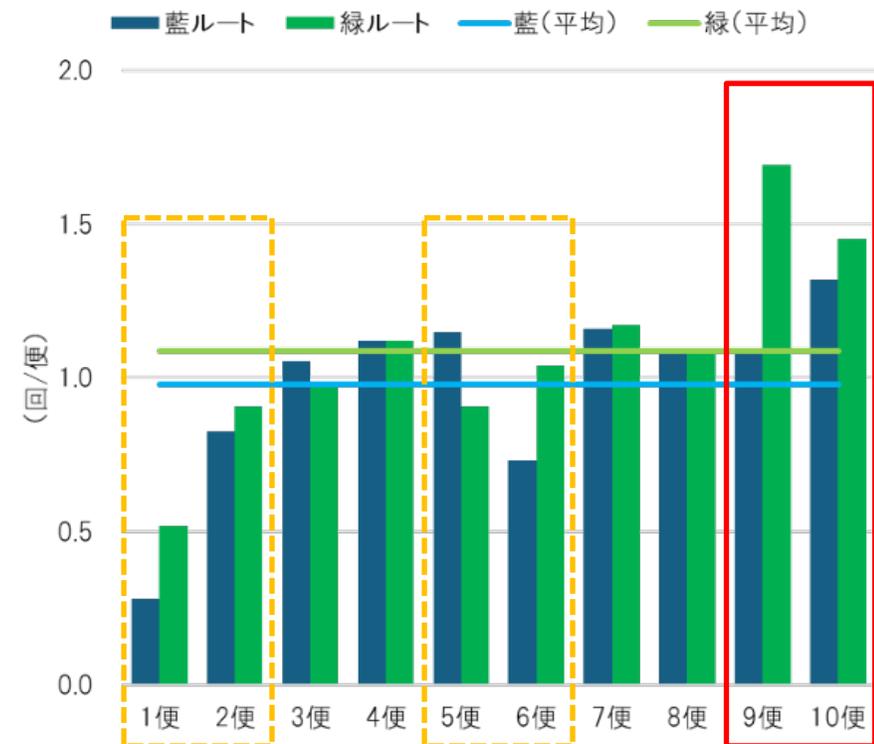
1 週間 (月～土) ごとの平均利用人数の推移

実証実験を通じた移動需要の分析と可視化

- 累計利用回数（ライド数）：約 1,600、日平均ライド数：21（両ルート計）
- COVID-19 感染拡大の影響により、実験後半にかけて利用者数の伸びが鈍化
- 乗降ログから、場所、曜日、時間帯と需要の関係を分析 → 次期計画に反映



利用者降車地点の密度分布



駅出発時間	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便
藍ルート	8:30-	9:20-	10:10-	11:00-	11:50-	12:40-	13:30-	14:24-	15:34-	16:45-
緑ルート	9:00-	9:50-	10:40-	11:30-	12:20-	13:10-	14:00-	15:03-	16:14-	17:25-

時間帯別の平均ライド数

とみおかーと 2022 社会実装トライアル（2022.12.02～）概要

運行期間	約 1 年（'22年12月～'23年11月）
運行日時	月火水金 10:00～19:30
運行車両	ミニバン 1 台（定員 5 名）
運行方式	路線定期 × 乗降地点自由
運行間隔	約 1 時間（10 便/日/ルート）
運賃	都度払い ：大人 200 円 小人 100 円 乗り放題 ：月極 3,000 円 回数券 ：2,000 円/11 乗車
運行担当	京急横浜自動車（京急タクシー）



地域の子どもたちによるペインティングイベントの成果をもとに「とみおかーと」のラッピングをデザイン

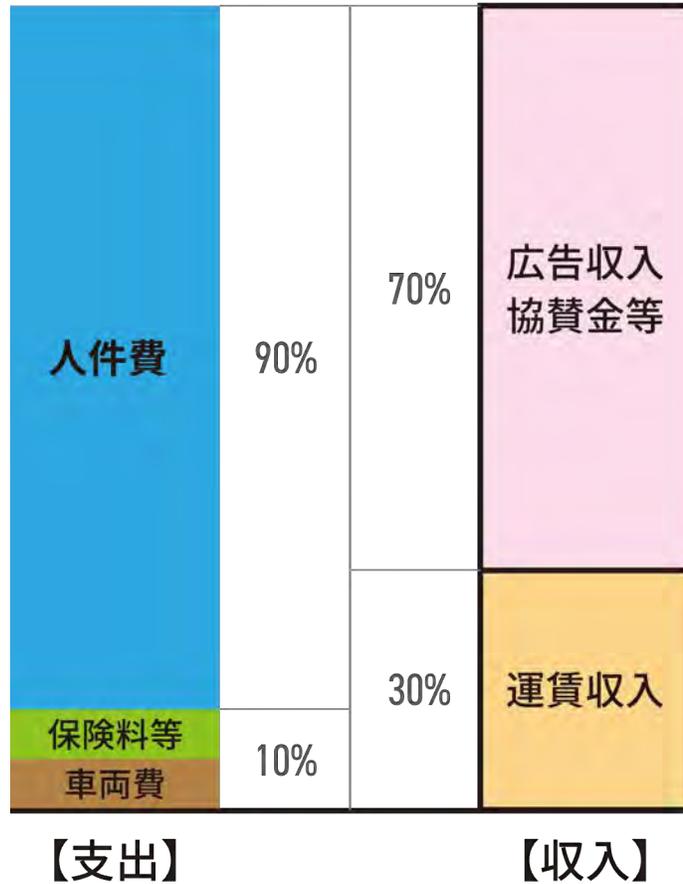


地元事業者のご厚意で設置された駅前の「とみおかーと待合室」

「とみおかーと」の経営安定化に向けた取り組み

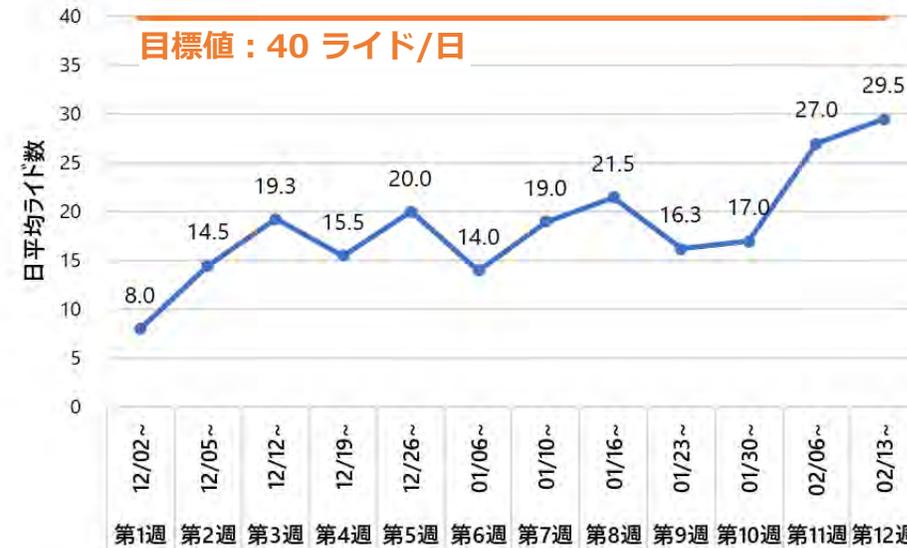
●地域ぐるみでの運営に向けたワークショップの継続的な実施

- 横国大がモビリティ確保の意義や多面的効果について講演
- 多様な地域主体が、とみおかーとの利用促進・支援策を議論
- 町内会からの支援金拠出案、店舗への送客連携施策案など



【参加者】(2022.11.30)

町内会長、商店会長、小学校副校長、郵便局長、
地域ケアプラザ、京急ストア、横浜国大、京急電鉄、
京急タクシー、神奈川トヨタ自動車、横浜市



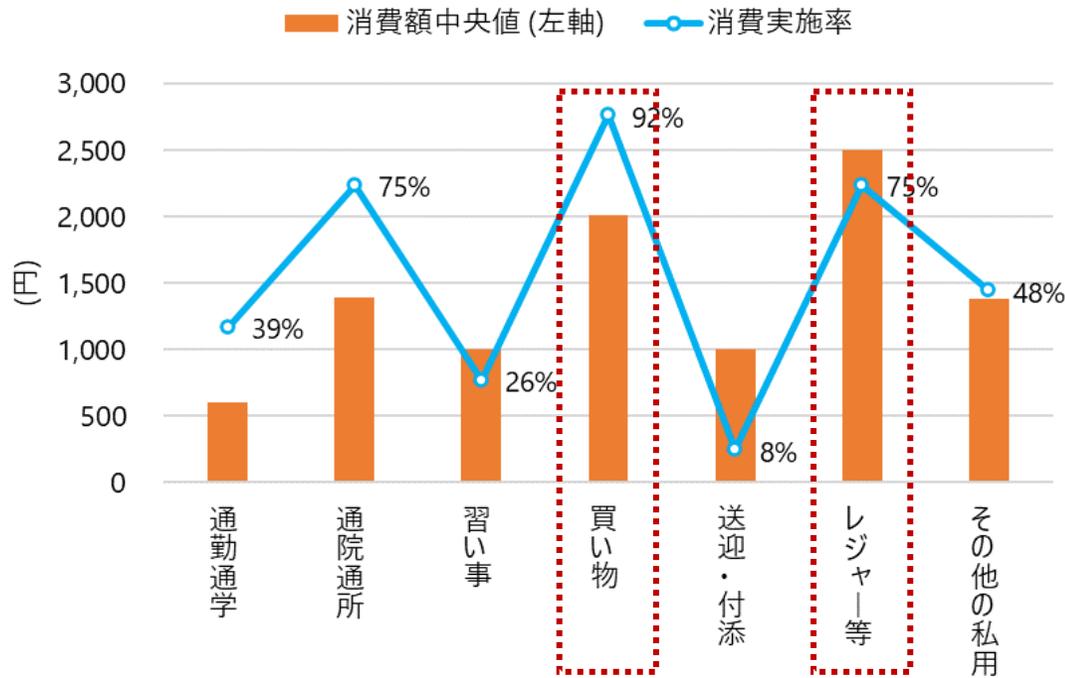
目次

1. 市民参加型共創プラットフォームとは
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
- 5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）**
6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方

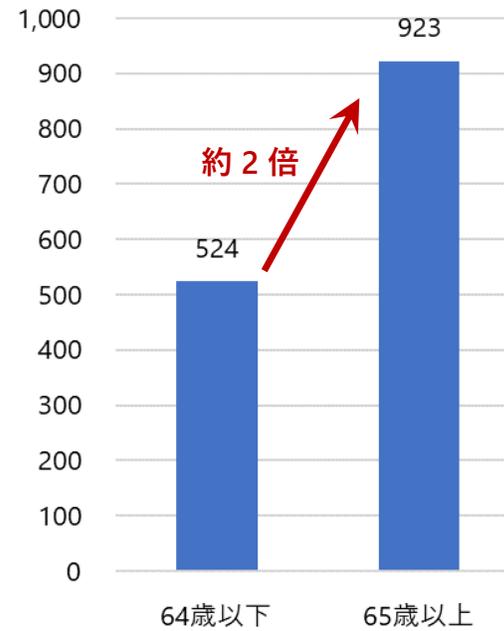
3. モビリティの向上が地域にもたらす多面的効果

人々のお出かけが地域にもたらす波及効果：消費行動

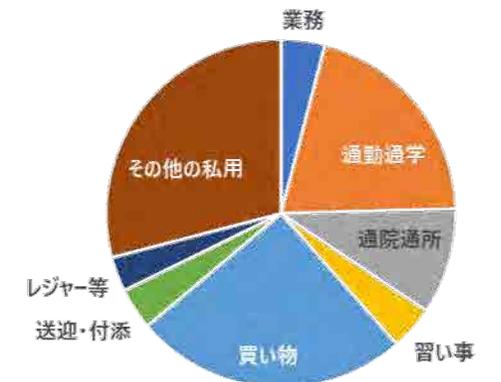
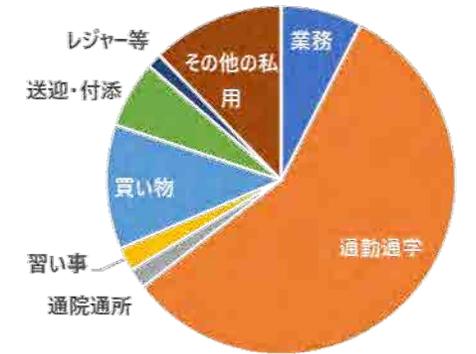
- 人々は移動の**目的地で消費（モノやサービスの購入）**を行う。
- 私用目的の移動は**消費実施率**が高く、その平均的な額は**1回あたり2,000~2,500円**。
- 消費を伴う目的の移動が多い**高齢者**は、移動1回あたりの**消費額が高い**。



移動1回あたりの消費実施率と平均的な消費額 (移動目的別)



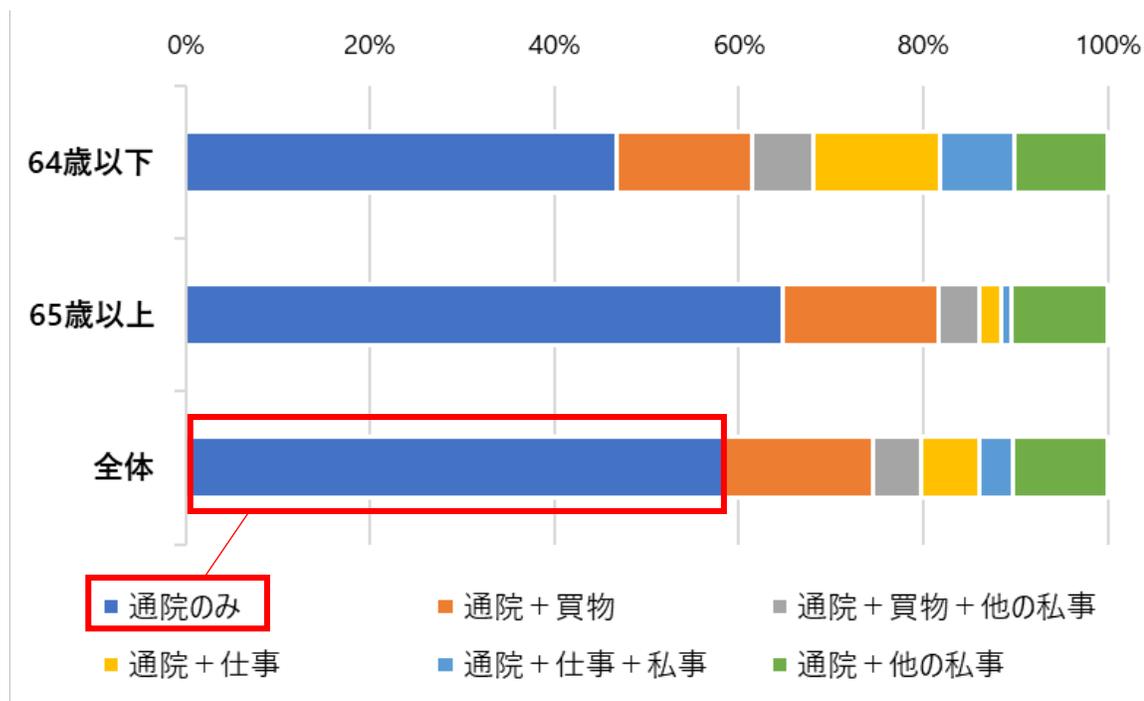
移動1回あたりの平均消費額 (年齢階級別)



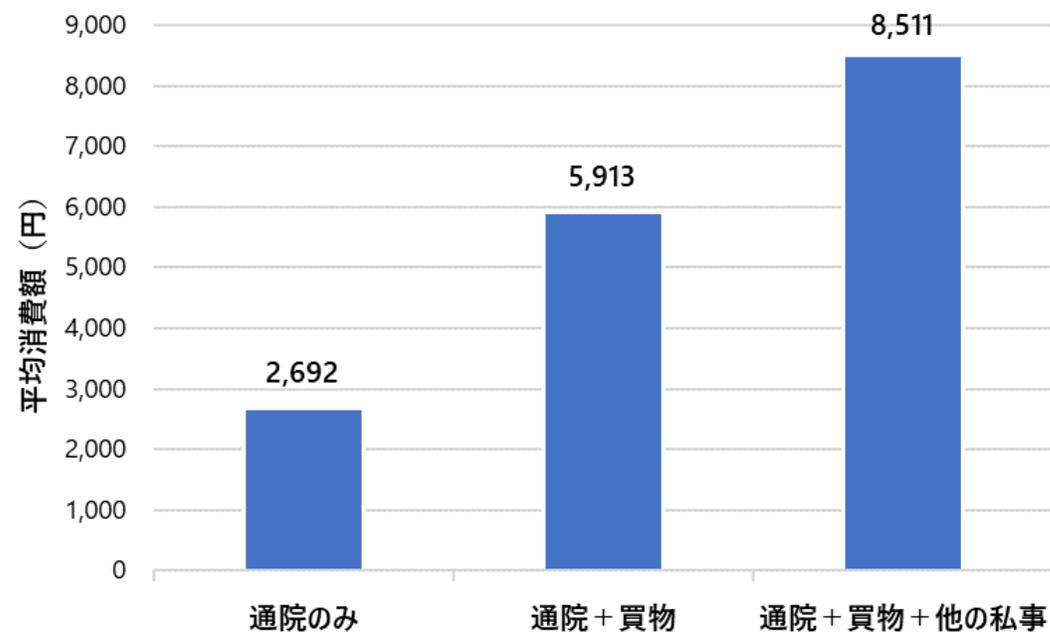
65歳以上の移動目的

人々のお出かけが地域にもたらす波及効果：活動のはしご

- 人々の活動と移動は連なっている。
- 「通院」を目的に含んだ「お出かけ」の例
 - ・ 通院のみ（自宅と病院の往復）のお出かけは、全体の6割弱にとどまる。
 - ・ 実際には「通院 + 買物」「通院 + 仕事」など、他の活動と組み合わせて外出している。



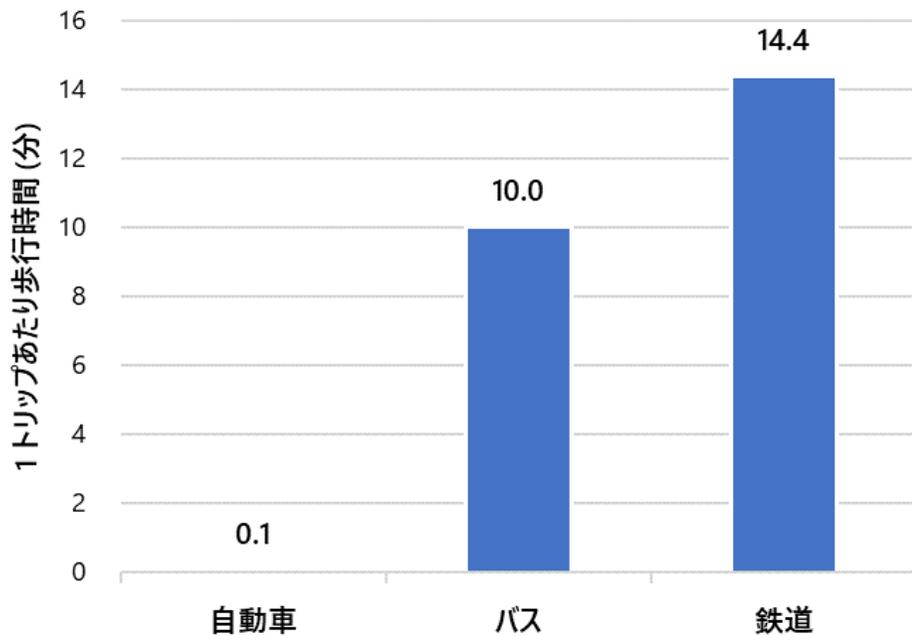
「通院」を目的に含んだお出かけパターンの構成



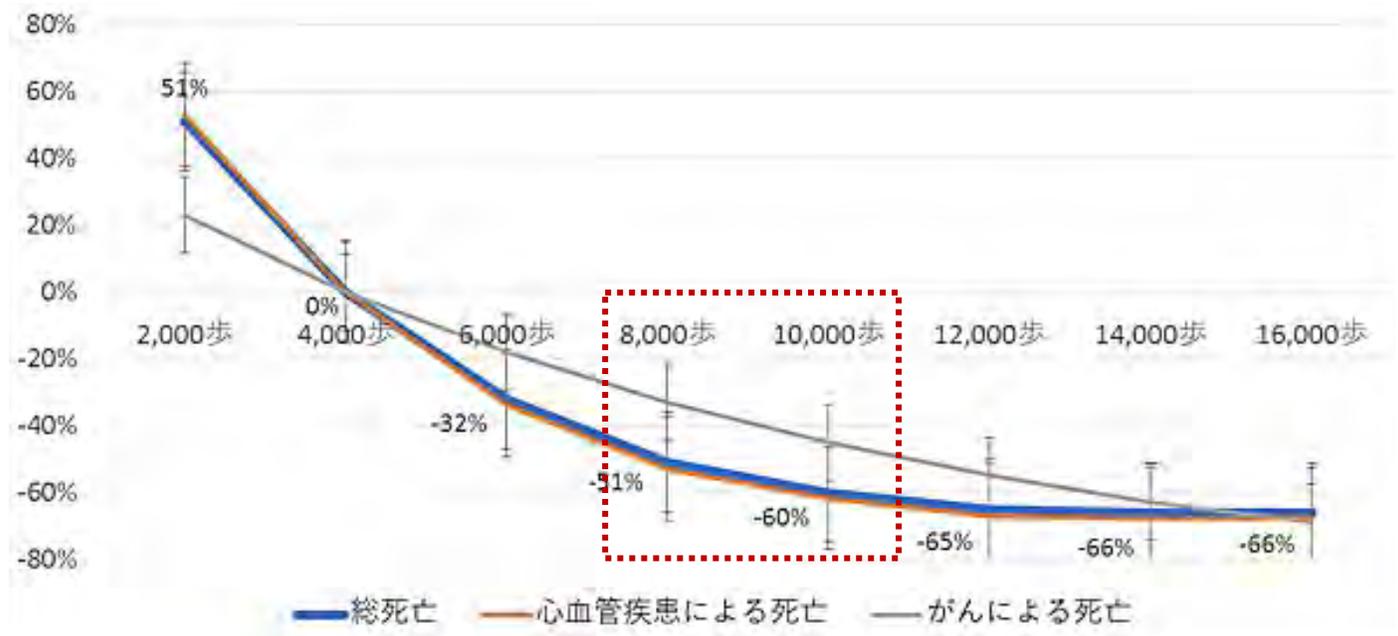
「通院」を含むお出かけ1回あたりの平均消費額

人々のお出かけが地域にもたらす波及効果：健康増進

- 人々は公共交通の利用に伴って**歩く**。
- バスや鉄道などの**公共交通**を使った移動は、**毎回 10~15 分ほどの歩行**を伴っている。
→ 往復で約 20~30 分/日 → **約 8,000~10,000 歩/日**
- 公共交通での外出を続けることは、**個人の健康にプラスの影響**をもたらす可能性。



代表交通手段別 移動 1 回あたりの歩行時間
(首都圏, 平日, 2008年)



一日あたりの歩数と死亡リスクの変化

Saint-Maurice PF, et al. Association of Daily Step Count and Step Intensity With Mortality Among US Adults. JAMA. 2020; 323 (12): 1151-1160.

とみおかーとのクロスセクター効果（CSE）試算結果

①外出増加 	利用者の約 1割 で外出増加 路線: 1.4 , デマンド: 3.5 [日/月]	低外出頻度層の外出促進 路線: 約 2割 , デマンド: 約 3割
②経済効果 	消費機会の増加	486,629 [円/月]
③医療費抑制 	歩行量の増加	32,472 [円/月] (行政)
④医療費増加	【徒歩⇒とみおかーと】 歩行量の減少	▲28,565 [円/月] (行政)
⑤環境負荷削減 	【自家用車, タクシー⇒とみおかーと】 走行台キロの減少	43.8 [kg- CO ₂ /月]
⑥交通事故発生抑制 		0.007 [件/月]
⑦他公共交通の外部不経済 	【バス, タクシー⇒とみおかーと】 運賃収入の減少	▲133,072 [円/月] (バス) ▲135,355 [円/月] (タクシー)
⑧意識変化 	免許返納意向強まる: 5割 居住継続意向強まる: 6割	人口流出の抑制
⑨潜在・将来利用, 他	非登録層の将来利用の潜在 etc..	防犯

- とみおかーと運営費月約**80万円** ※
- 正の多面的効果: 月約**50万円**
- 負の多面的効果: 月約**30万円**

→公共交通網として連携できれば外部不経済は小さくなる可能性

※環境省令和元年度IoT技術等を活用したグリーンズローモビリティの効果的導入実証事業委託成果報告書(別冊)-飯館地区→ https://www.env.go.jp/earth/earth/ordanka/green-slow_mobility/mat02_01ate.pdf より再出

外出促進アプリによる居住者交通行動データの収集と蓄積

- ナッジアプリ「とみおかーと Moove」ユーザーの 5 カ月分の移動ログを収集
- 外出頻度、訪問施設、訪問頻度、滞在時間、移動手段などを詳細に分析可能
- 都市・交通計画、疫学研究（身体活動量）、店舗誘客など、様々な分野への活用

★ 徒歩、自転車、とみおかーとの移動を促進するナッジアプリ：「とみおかーと Moove」

- 移動距離に応じて、コンビニ等で利用可能なポイントを付与
- とみおかーと利用促進ミッションを設定し、需要を喚起



MOOVE
Mooveに登録すると日常移動や
とみおかーとに乗るたびに
ポイントがたまります！

Mooveとは

- 日々の移動を促進する「健康増進スマホアプリ」
- 徒歩・自転車移動等でポイントを多く獲得
- たまったポイントはカフェチェーン店や一部コンビニのクーポン券等と交換可能

あいおいニッセイ同和損保(株)が当アプリを通じて取得する移動履歴等の情報につきましては、京浜急行電鉄(株)及び横浜国立大学が、とみおかーと実証実験分析に活用いたします。

ダウンロードの際はアプリストアで「とみおかーと Moove」と検索ください※
※アプリは11月頃にダウンロード可能となる見込みです。(iPhone限定予定)

MS&AD あいおいニッセイ同和損保



MISSION

TOP 特賞 生活

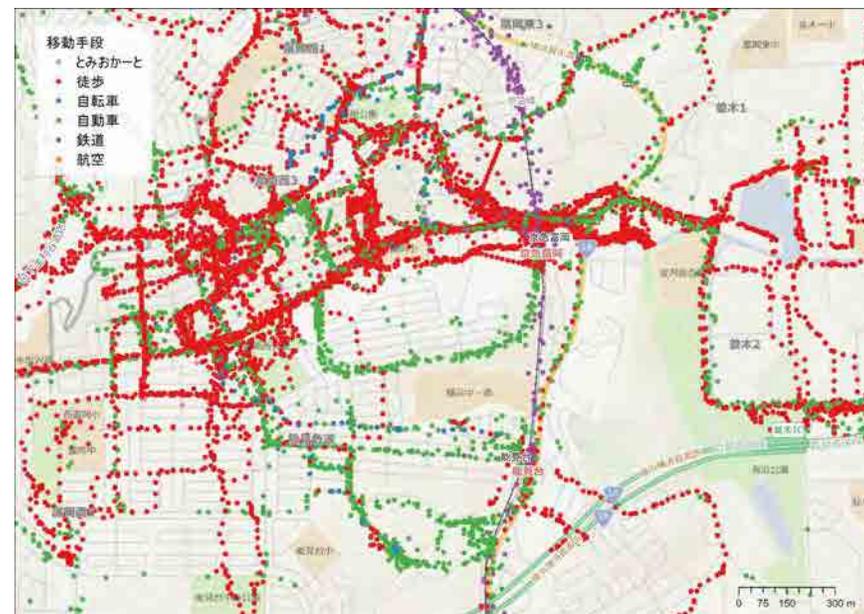
参加中ミッション

とみおかーと

50pt

【1月限定】とみおかーとに3回乗ろう！

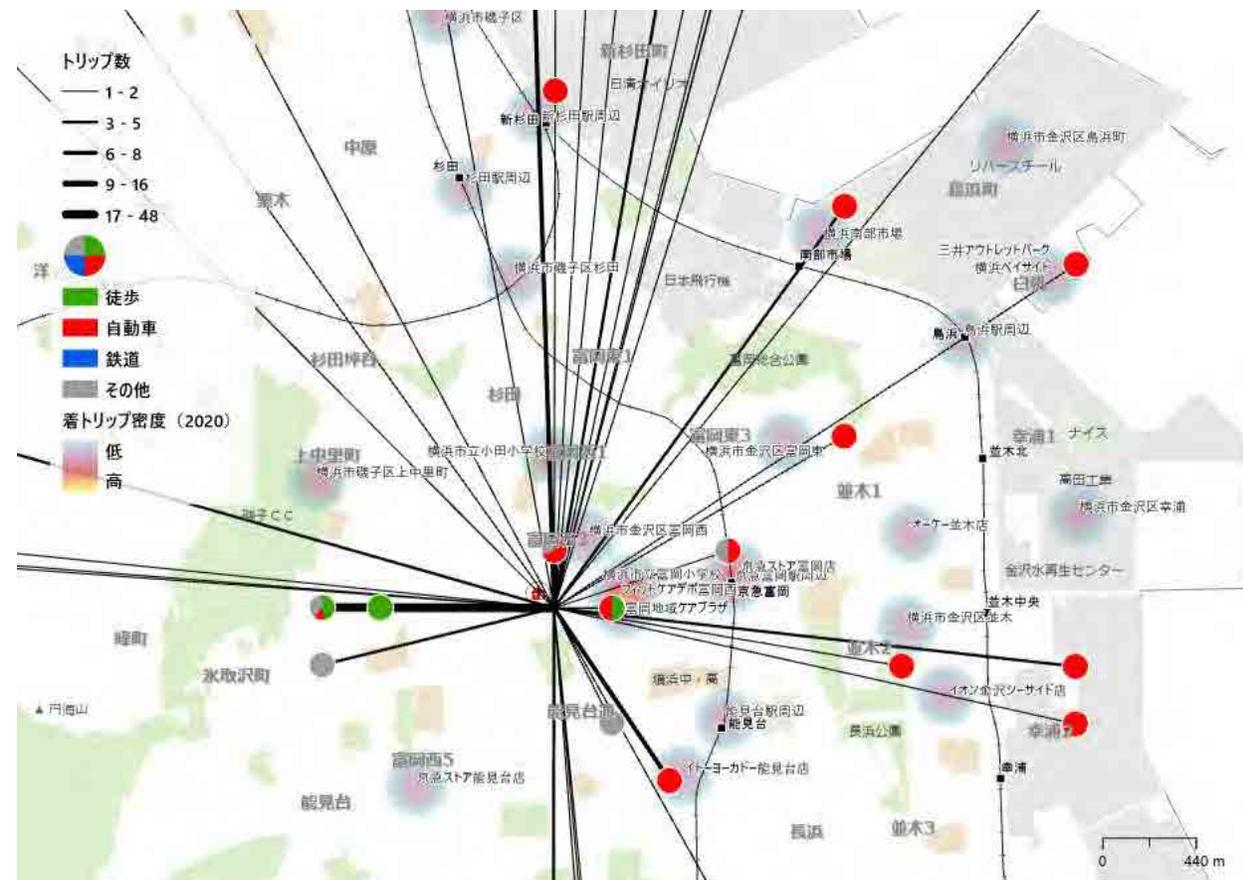
2022/01/31まで



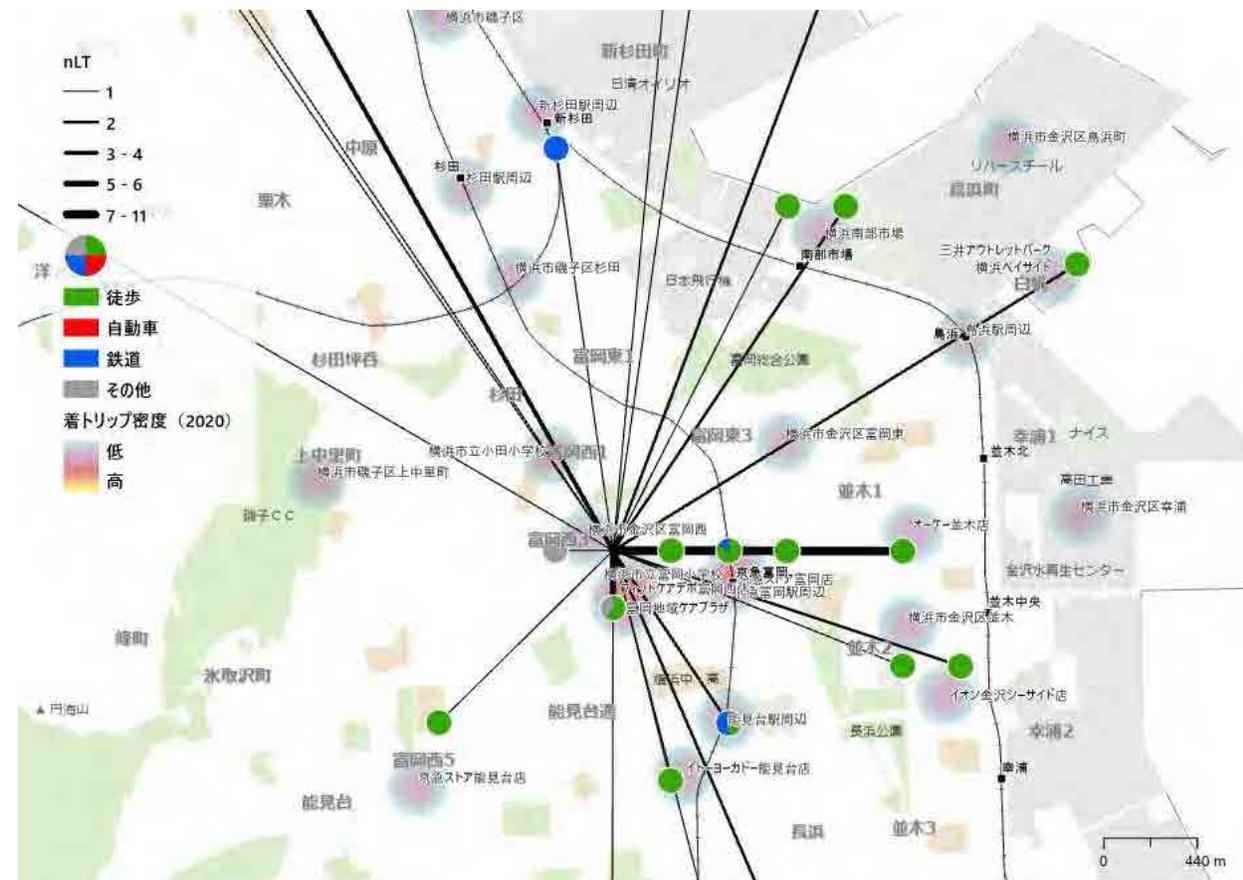
とみおかーとユーザー 30 名分の GPS 位置情報
(2021年11月)

トリップ目的地と移動手段の分析結果

- 数か月間のデータを基に、自宅発目的地別のトリップ数、交通手段構成などを縦断的に分析可能
- 目的地の分布や、交通手段の選択の様態が個人によって異なることを定量的に示せる



個人 A の移動目的地と交通手段構成
(マイカー指向)



個人 B の移動目的地と交通手段構成
(徒歩 + 公共交通指向)

まとめ：共創型コミュニティ交通の実践から見た課題と可能性

1. 取り組みを地域に認知してもらうには**時間**がかかる

- 小規模でいいので、かたち（実物）を見せる、**結果を可視化**する、それを粘り強く続けていく

2. 直接の**受益者**（乗客）だけでモビリティサービスを支えるのは難しい

- 運行経費の捻出、乗降場所や待合スペースの確保、プロモーション活動：**様々な地域主体の関与**が必要

3. 既存の交通サービスとの**役割分担**

- バスやタクシー、地域事業者（商店、病院、福祉施設など）の送迎サービスとの役割分担

4. 地域のモビリティ（移動のしやすさ）は、**地域ぐるみ**で考える

- 様々な角度と強度で、地域主体が関与する仕組み：子どもからお年寄りまで、**みんなを巻き込む工夫**

5. ゴールに向かってぶれずに走り続けられる、**持続可能な推進体制**

- エンジン（情熱をもった地域の方々） + **ファシリテーター（公 × 学）** + 技術提供者（企業）

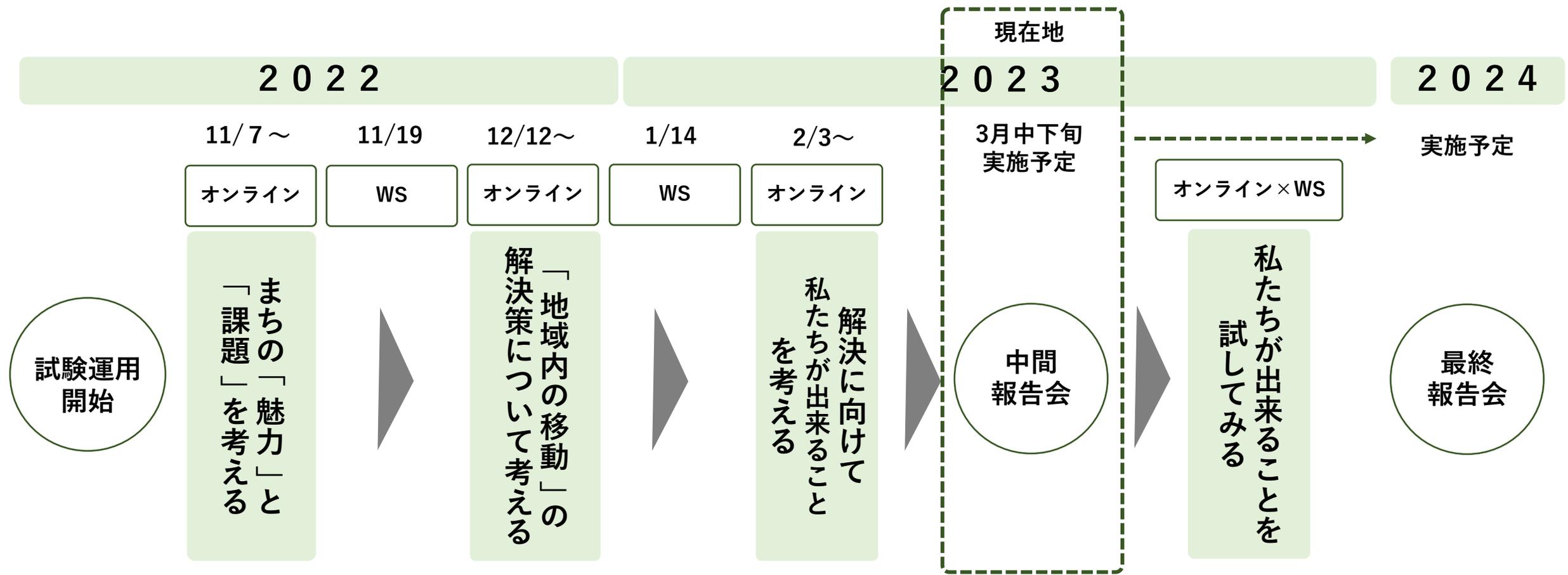
6. 実証実験を通じた**課題や障壁の可視化と共有**

- 何が、どう足りないのかを **みんなで学ぶ** ⇒ 一発で成功させようとしなない、周りもそれを求めない

目次

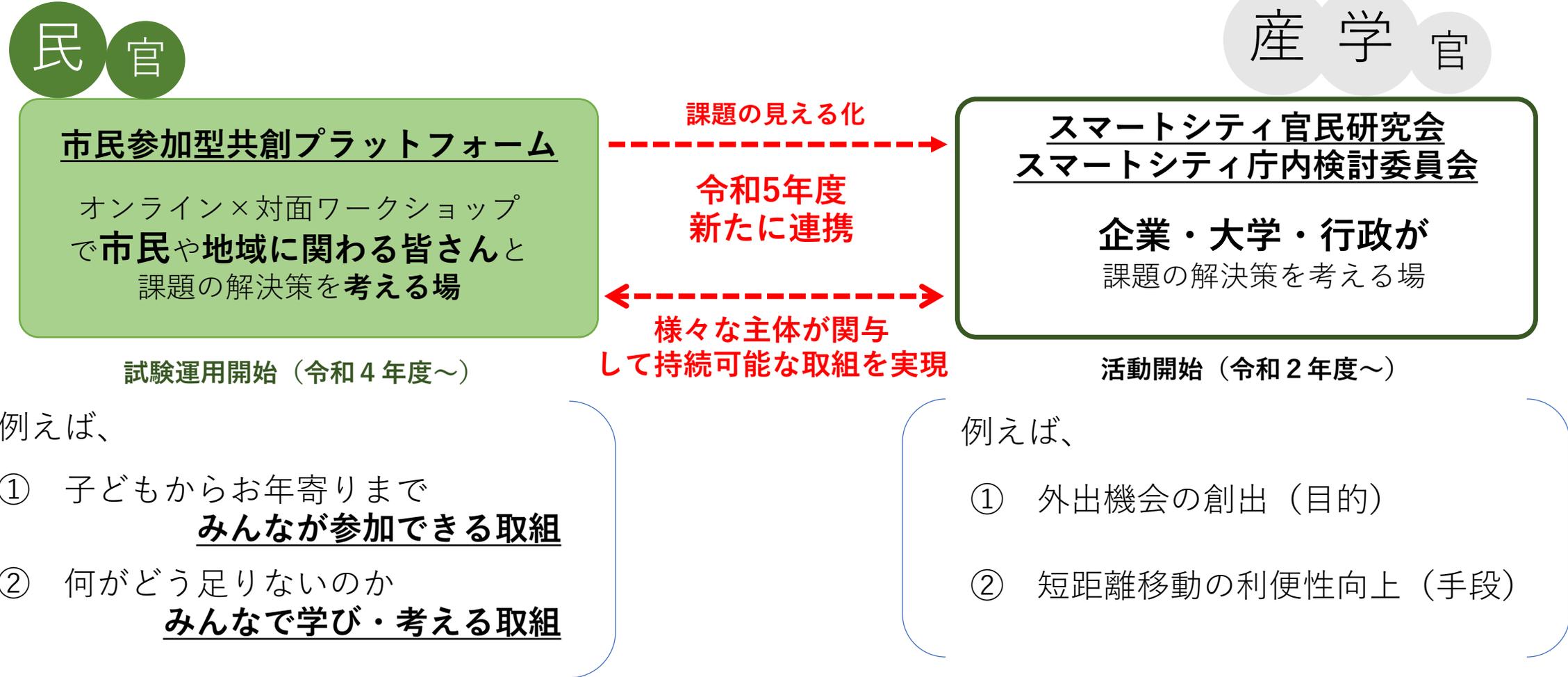
1. 市民参加型共創プラットフォームとは
2. 西鎌倉地域で試験運用を実施するに至った経緯と背景
3. これまでの西鎌倉地域の取組の振り返り
4. 地域における活動の場や移動支援のあり方（講話）
5. 専門家と地域の方で考える西鎌倉地域の取組（トークセッション）
- 6. 今後の西鎌倉地域の取組の進め方**

今後の取組のスケジュール



市民参加型オンライン共創プラットフォーム（オンライン）と、ワークショップ（対面）を組み合わせ、より多くの市民や、市に関わる方の意見を政策に反映させる仕組み

地域（市民）主体の解決策を産官学と共創



官民研究会の活動



鎌倉市スマートシティ研究会WS
～鎌倉市民の人流分析・可視化から考える～

【日 時】

令和5年1月20日（金）18時30分～20時00分

【テーマ】

「市民がちょっとでかけたくなる」
をテーマにスマートシティサービスを考える



地域（市民）主体の解決策を産官学が関与
して共創する活動を促進